



# 西南学院大学博物館年報 第10号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.10

2017

 西南学院大学



# 巻 頭 言

西南学院大学博物館は、研究・教育の拠点として、さらには「社会に開かれた大学」を具現化するために、展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた連携活動など、精力的に取り組んでおります。

2017年度も例年と同様、春季と秋季の2回の特別展のほか、学生スタッフを主体とした企画展、実習生企画展、常設展示室テーマ展示等を行っております。春季特別展では、長崎県の南島原市に全面的な協力を賜り、島原半島に焦点を当てた展覧会を開催いたしました。秋季特別展では、当館が所蔵する多様なキリスト教の祈りの道具を展示し、信仰と芸術の関係についての理解を深めるコレクション展を開催いたしました。また、常設展示室テーマ展示においては、本学に長年寄与されました故関谷定夫名誉教授への追悼の意を込めて、関谷定夫コレクション展を開催いたしました。

そのほか、過年度に引き続き、國學院大學博物館と南島原市との相互の館での展示、おでかけワークショップなどの協定事業も活発に行っております。2017年度の活動報告として、本書を刊行いたします。今後とも、引き続き大学博物館へのご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年1月31日

西南学院大学博物館  
館長 後藤 新治

# 目 次

巻頭言 .....	3
2017年度事業報告	
1. 展示活動	
1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動	
春季特別展「島原半島の信仰と歴史——揆とその後の松浦氏治世——」実施報告 .....	5
秋季特別展「キリスト教の祈りと芸術——装飾写本から聖画像まで——」実施報告 .....	11
企画展「西南学院とW. M. ヴォーリズ」実施報告 .....	16
常設展示室テーマ展示 関谷定夫コレクション展「ユダヤの信仰——トーラーと祭具——」実施報告 .....	17
1.2 共同・連携事業による展示活動	
【南 島 原 市】 連携特別展・産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告 .....	18
【國學院大學博物館】 相互貸借特集展示 実施報告 .....	22
2. 教育活動	
博物館実習 .....	25
博物館実習成果展IX .....	27
せいなんワークショップ概要 .....	31
せいなんおでかけワークショップ概要 .....	33
博物館教職員活動記録 .....	34
博物館刊行物・成果物 .....	36
博物館講堂使用状況 .....	38
3. 来館者動向	
来館者統計 .....	39
特別展期間中来館者動向 .....	40
来館団体一覧 .....	41
4. 博物館規定 .....	42
5. その他	
寄贈図書一覧 .....	52
西南学院大学博物館組織 .....	56

# 1. 展示活動

## 1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

### 春季特別展

## 「島原半島の信仰と歴史－一揆とその後の松平氏治世－」 実施報告

会 期：2017年6月12日（月）～8月7日（月）

共 催：西南学院大学博物館・南島原市

後 援：福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・福岡市文化芸術振興財団

会 場：西南学院大学博物館

### 第21回特別展関連公開講演会

日 時：2017年7月1日（土） 14:00～16:00

会 場：西南学院大学博物館2階講堂

講 師：安高 啓明 氏（熊本大学大学院人文社会科学部准教授）

「熊本藩軍功意識と創造された天草四郎像」

南浦 利早 氏（南島原市教育委員会文化財課文化財調査員）

「島原・天草一揆後の復興と移住政策」

### 事業内容

本展覧会は、2015年度に「研究・教育に関する協定」を締結した南島原市との共催である。西南学院大学博物館では、日本のキリスト教シリーズとして、これまで南島原市・島原市、天草市、平戸市、大分市にスポットをあてた展覧会を行った。日本のキリスト教シリーズの第5弾である本展覧会では、南島原市、島原市、雲仙市からご協力を賜った。

島原の歴史としてこれまで展覧会などで取り上げられていたのは島原・天草一揆までであり、一揆終結後、地域が復興し、新たな歴史を築いていくことについてはほとんど注目されてこなかった。本展覧会は島原・天草一揆とその後の島原藩の藩政について紹介するものであり、特に最も長く島原藩を治めた深溝松平氏に焦点をあてた。様々な機関の協力を得ることができ、これまで行ってきた地域との連携の取り組みの成果があらわれた展覧会であったといえる。



## 開催概要

戦国時代、島原半島を領有していた有馬氏は、南蛮貿易を行った。そのなかでキリスト教に改宗した有馬晴信は、天正遣欧使節をローマに派遣するなど積極的に活動し、領民もキリスト教へ改宗した。しかし、一転禁教の世になると、有馬氏後に島原に入封した松倉氏のキリスト教弾圧や苛烈な年貢の取り立てなどに対して領民が蜂起し、その後の日本の政治体制に大きな影響を与えることになる、島原・天草一揆が勃発した。

一揆鎮圧後、領民の大半が虐殺された島原半島にはさまざまな藩からの移住民が募られ、統治する者として高力氏、松平氏、戸田氏といった譜代大名が入封された。領地の安寧に向けて政策を行った松平氏であったが、その治世には数々の苦難があった。特に、普賢岳の噴火は未曾有の事態であり、多くの人命が失われ藩の財政は困難を極めた。

幕末になると、異国船来航の増加により国内外が騒然とする。島原藩をとりまく情勢も変化し、「開国」、そして大政奉還を迎える。明治時代になると、島原は長崎県に併合され、口之津は海外に開かれた港として再び繁栄した。

本展覧会は、主として前近代の島原を取り上げ、島原藩で最も長く続いた深溝松平氏を中心に島原半島の信仰と歴史を概観することを目的とする。

## 第I部：島原半島とキリスト教

1549(天文15)年イエズス会士フランシスコ・ザビエルの来日により、日本にキリスト教がもたらされた。1563(永禄6)年には時の領主有馬義貞の要請により、ルイス・デ・アルメイダが島原に入り、伝道を行った。義貞の子、晴信も洗礼を受け、キリスト教の布教活動に協力的であったため、島原半島には多くの領民がキリシタンとなった。しかし、禁教の世になると、キリシタンたちは改宗を余儀なくされ弾圧が行われた。そのようななか、後の徳川幕府の政策に影響を与えることとなる島原・天草一揆が勃発する。

### 1. 有馬氏の海外交流

有馬氏は中世より島原の地域を領地とし、16世紀頃には島原半島や肥前の大半を領有した。有馬氏の居城であった日野江城や原城からはアジアからの輸入陶器が多く出土しており、海外交流を盛んに行っていたことがうかがえる。また、有馬氏が開いた口之津港には南蛮船が来航し、島原半島でのキリスト教の布教が行われ、教会やセミナリヨ、コレジヨが設立された。

### 2. 島原・天草一揆の顛末

有馬晴信の子、直純が延岡に転封後、大村・佐賀鍋島・平戸松浦の領地を経て島原へ入封したのは松倉重政であった。松倉氏は苛政を敷き、厳しい年貢の徴収やキリスト教弾圧を行った。こうしたなか、島原の領民が有馬村代官林小左衛門を殺害したことを契機とし、1634(寛永14)年に、島原・天草一揆が勃発する。当時、唐津藩寺沢堅高領であった天草の領民と合流し、一揆勢は原城へ籠城した。鎮圧のため九州諸藩を中心とした幕府軍が出兵し、一揆勢約3万人は殲滅された。

## 第Ⅱ部：島原藩深溝松平氏の治世

島原・天草一揆後、松倉氏に代わり譜代大名である高力氏が精力的に復興に向けた政策を行うが、2代隆長の際に改易となり、その後深溝松平氏が入封する。途中に戸田氏との交換支配を挟み、廃藩までの間、深溝松平氏は島原半島を統治した。

### 1. 深溝松平氏について

深溝松平氏は徳川将家康と共通の先祖を持つ、松平庶流諸家の一つである。三河の深溝を本拠としたため、深溝松平と称した。松平忠房は、刈谷藩、福知山藩を経て、1669(寛文9)年島原へ移封された。この際、島原領以外に豊前国宇佐郡、豊後国国東郡にも領地を与えられ、6万5900石余に加増された。

### 2. 島原藩の禁教政策

島原・天草一揆が幕府の禁教政策において与えた影響は大きかった。禁教政策は徹底され、全国的に宗門改や寺請制度が実施される。キリスト教を批判する排耶書なども出回り、キリスト教が邪教であるという思想が浸透していく。

### 3. 島原藩と災害－島原大変－

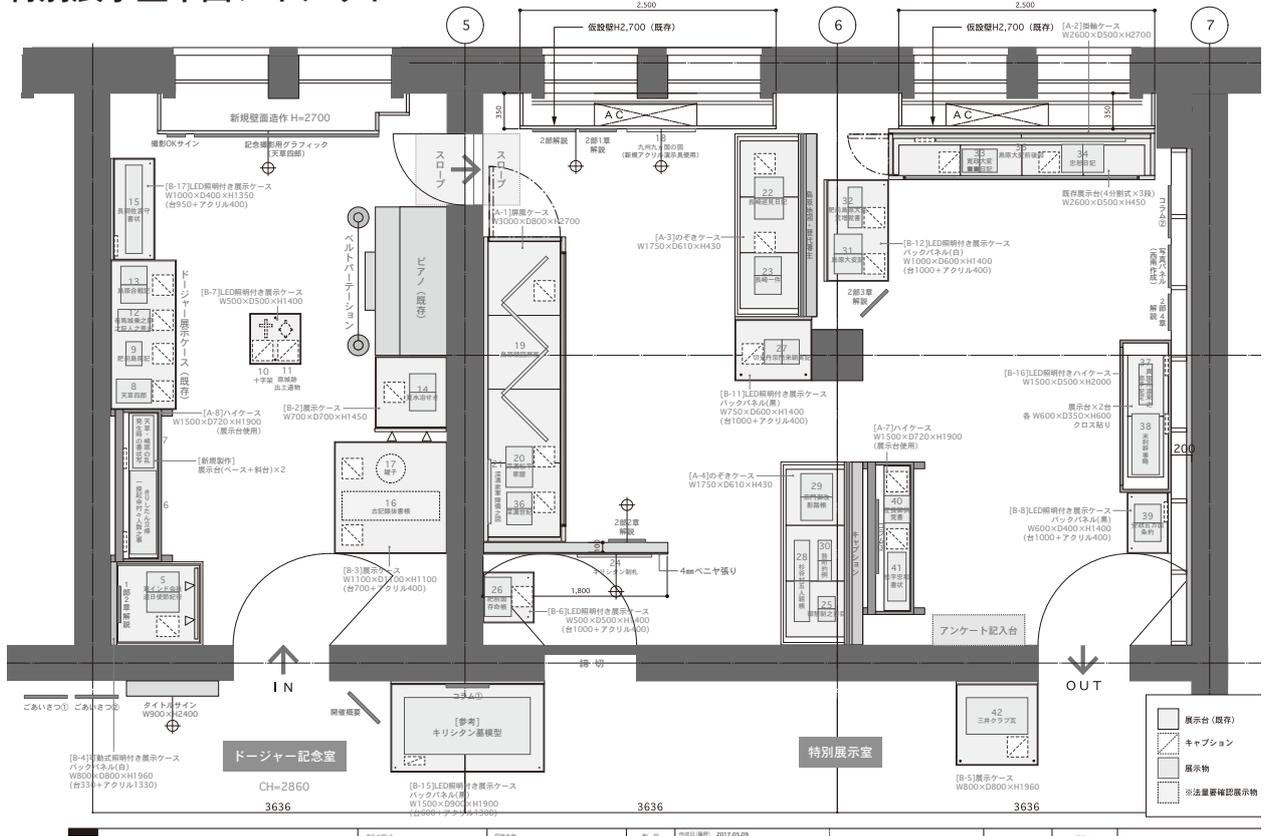
1792(寛政4)年雲仙岳の火山性地震により、眉山が山体崩壊し、土砂が島原の村々を襲った。有明海まで流出したため高波が発生し、対岸である肥後国にも被害が及んだ。多数の死者を出した未曾有の大災害がその後の島原藩の藩政に与えた影響は大きかった。

### 4. 島原藩の終焉

頻発する異国船の来航により対外的な緊張が高まるなか、アメリカをはじめとする各国と条約を締結し、日本は「開国」した。このことにより江戸幕府に対する批判が一層激化し、国内は動乱した。その後大政奉還を迎え、戊辰戦争や版籍奉還により、島原藩最後の藩主松平忠和は島原藩知事となる。1871(明治4)年には島原県となり、松平氏は島原を離れた。



### 特別展示室平面レイアウト



## ■西南学院大学博物館2017年度春季特別展

## 「島原半島の信仰と歴史—一揆とその後の松平氏治世—」出品目録一覧

	資料名	英訳	年代/製作者/材質・形態	所蔵
<b>I. 島原半島とキリスト教</b>				
<b>第1章 有馬氏の海外交流</b>				
1	日野江城跡出土、アジアの陶磁器	Ceramics made in Asia	16世紀	南島原市教育委員会
2	聖フランシスコ・ザビエル像	Statue of St. Francis Xavier	18世紀	西南学院大学博物館
3	聖フランシスコ・ザビエル伝	Biography of Life of St. Francis Xavier	1793(寛政5)年/ ジュゼッペ・マッセイ	西南学院大学博物館
4	花十字紋瓦	Roof tile with "flower cross" design	—	南島原市
参考	キリシタン墓模型	A Christian Gravestone	—	南島原市教育委員会
<b>第2章 島原・天草一揆の顛末</b>				
5	東インド会社遣日使節紀行	Atlas Japannensis	1669(寛文9)年/ アルノルドゥス・モンタヌス	西南学院大学博物館
6	きりしたん立帰一揆起申 村々人数之事	Record of Participants in Shimabara-Amakusa Rebellion	1637(寛永14)年	熊本大学附属図書館
7	天草・嶋原の乱発生時の 書状写	Letter about Shimabara-Amakusa Rebellion written by chief retainers of Shimabara Domain	1637(寛永14)年	熊本大学附属図書館
8	天草四郎肖像	Ukiyo-e of Amakusa Shiro	1874(明治7)年	西南学院大学博物館
9	肥前島原記	Records of Shimabara-Amakusa Rebellion	江戸時代	西南学院大学博物館
10	青銅製箱型十字架	Reliquary Cross	—	南島原市
11	原城跡出土遺物 砲弾、 十字架、メダイ、ロザリ オ珠	Christian relics in the Remain of Hara Castle Bullet, Cross, Medal, Bead of Rosary	—	南島原市
12	有馬城乗之節之証人之指出	Record of JIN no Sukezaemon who killed Amakusa Shiro	1638(寛永15)年	熊本大学附属図書館
13	島原合戦記	Tale of Shimabara-Amakusa Rebellion	1704(宝永元)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
14	寛永治迹	Record of Military Contribution of Kumamoto Domain to Shimabara- Amakusa Rebellion	1723(享保13)年	南島原市教育委員会
15	長岡佐渡守書状「原城本 丸一番乗りの件につき」	Record of Military Contribution of Kumamoto Domain to Shimabara- Amakusa Rebellion	1638(寛永15)年	個人蔵
16	古記録抜書帳	Chronicle of Minamikushiyama- village and Shimabara Domain	1614(慶長19)年~1676 (延宝4)年	雲仙市教育委員会
17	鑪子	Kettle to Boil Water	—	雲仙市教育委員会
<b>II. 島原藩深溝松平氏の治世</b>				
<b>第1章 深溝松平氏について</b>				
18	九州九カ国の図	Map of Kyushu	1783(天明3)年	西南学院大学博物館
19	深溝松平家譜	Book of Fukōze-Matsudaira's Genealogy	江戸時代	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
20	島原領図屏風	Folding Screen of Shimabara Peninshula	江戸時代	本光寺常盤歴史資料館
21	深溝世紀	Record about the Lords of MATUDAIRA Clan	1874(明治7)年頃/ 渡部正弼	肥前島原松平文庫
22	深溝家軍陣備之図	Illustration of the battle arrays of Fukōze-Matsudaira Clan	江戸時代	本光寺常盤歴史資料館
23	長崎巡見日記	Daybook about Inspection of Nagasaki	1719(享保4)年	本光寺常盤歴史資料館
24	長崎一件	Book of Collective Information on Nagasaki	1777(安永6)年~1827 (文政10)年	肥前島原松平文庫
<b>第2章 島原藩の禁教政策</b>				
25	キリシタン制札	Proclamation Banning Christianity	1682(天和2)年	西南学院大学博物館
26	御禁制之書目并阿蘭陀 買渡御停止之品立書付	List of Contraband Goods in Trade with the Netherlands and China	1810(文化7)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
27	肥前国五嶋領転切支丹 之類族存命帳	Family Registers of Christians Converted to Buddhism	1777(安永6)年	西南学院大学博物館
28	切支丹宗門来朝実記	Tale of Anti-Christianity	1854(嘉永7)年	西南学院大学博物館

	資料名	英訳	年代/製作者/材質・形態	所蔵
29	杉谷村五人組帳	Note of the Rules and the Seals of the Five-Household Group	1802(享和2)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
30	宗門御改影踏帳	Religious Investigation Register	1833(天保4)年	西南学院大学博物館
31	咎附の例	Record of Violation of Rules and Penalty of Shimabara domain	1841(天保12)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
<b>第3章 島原藩と災害—島原大変—</b>				
32	肥前島原大変荒増覚書	Outline of Mt. Unzen Eruption	1793(寛政5)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
33	島原大変記	Records about Mt. Unzen Eruption	1819(文政2)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
34	忠恕日記	Record about the Lord of Shimabara Domain, MATSUDAIRA Tadahiro	1762(宝暦12)年~1792(寛政4)年	肥前島原松平文庫
35	寛政大変後忠恕逝去に関する日記	Records about MATSUDAIRA Tadahiro's death and Buddhist Memorial Service	1792(寛政4)年以降	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
36	島原大変前後図	Illustrations of Shimabara Castletown before and after Mt. Unzen Eruption	1890(明治23)年	肥前島原松平文庫
<b>第4章 島原藩の終焉</b>				
37	異国舟渡来之節手配定	Manual of the Shimabara Domain for Foreign Ships under the National Isolation	1852(嘉永5)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
38	米利幹事略	Record written concerning events with America	江戸時代後期	西南学院大学博物館
39	安政五力国条約	Treaty of Amity and Commerce	江戸時代後期	西南学院大学博物館
40	征長御供覚書	Record about the First Chōshū expedition	1864(元治元)年	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
41	松平忠和書状	Letter from MATSUDAIRA Tadakazu to HATTORI Saemonnosuke	1865(慶応元)年カ	九州大学附属図書館付設 記録資料館九州文化史資料部門
42	三井倶楽部瓦	Roof Tile with Company Emblem of "Mitsui"	明治時代	南島原市教育委員会

# 秋季特別展 「キリスト教の祈りと芸術－装飾写本から聖画像まで－」 実施報告

主 催：西南学院大学博物館  
後 援：福岡県・福岡市・福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・福岡市芸術振興財団  
会 場：西南学院大学博物館特別展室、2階講堂  
会 期：2017年11月13日(月)~2018年1月29日(月)

## 第22回特別展関連公開講演会

日 時：2017年11月25日(土) 13:00~14:30  
会 場：西南学院大学博物館2階講堂講演会  
講 師：鐸木 道剛氏(東北学院大学教授)

「〈もの〉としての聖書、〈もの〉としてのイコン」

## 事業内容

本展覧会は、キリスト教文化をメインテーマとし、西南学院大学博物館が所蔵するキリスト教文化に関する資料のなかから、「芸術」に焦点を当てて企画を行ったコレクション展である。本展覧会で出陳した資料は、装飾写本などの文字資料やイコンなどの画像資料を中心とした。芸術という視点ではあるが、キリスト教の伝播の歴史が学べる構成とした。



## 開催概要

祈るという行為は、あらゆる宗教において重要な儀式である。キリスト教では、祈るために、祈りの言葉が記される聖書や祈祷書、そしてイエスや聖母マリアを描いた聖画像などの様々な道具が生み出された。それらは、信仰の証として、ときには所有者の権力の象徴として豪華に装飾され、そのなかには高い芸術性を有するものもある。世界に展開するキリスト教圏では、道具を彩る装飾様式の変遷が、ひとつの芸術の歴史を物語る。本展覧会では、キリスト教の歴史的な流れとともに、世界各地で制作された祈りの道具をご紹介します、その芸術性に込められた意味や役割について理解を深めていただければ幸いです。

## 1章：信仰の芸術－聖書写本と時祷書

祈りの基盤となる聖書写本や時祷書は、信仰の道具であると同時に芸術作品としても高い価値を有する。聖職者のみならず世俗の信徒の祈祷のために、装飾写本は時代と共に贅を尽くしたものから比較的安価なものまで制作され、その信仰を支えた。

1節 聖なる書

2節 祈りの書



## 2章：思想の広がり－印刷技術の発明と改革

15世紀にはじまる印刷技術の発展は、キリスト教の世界に大きな変革をもたらした。活版印刷の誕生により聖書をはじめとする様々な書物が大量に印刷されるようになる。その技術は個人の思想を広めることにも活用され、宗教改革の契機ともなった。

1節 活版印刷と宗教改革

2節 対抗宗教改革と布教活動



## 3章：受容のかたち－世界の聖画像

イエスや聖母マリアなどを描いた聖画像は、キリスト教が発展していくなかで生み出された祈りの道具である。11世紀にはキリスト教会が東西に分裂し、聖画像の在り方は東西で異なるものとなる。その後、キリスト教が世界中に伝播し各地で受容されることで、各地で地域性豊かな聖画像が生み出されていった。

1節 東方正教会の聖画像

2節 布教活動と聖画像





## ■西南学院大学博物館2017年度秋季特別展

## 「キリスト教の祈りと芸術—装飾写本から聖画像まで—」出品目録一覧

	資料名	英訳	年代/製作者/材質・形態	法量(cm:縦×横)	所蔵
<b>第1章 信仰の芸術—聖書写本と祈祷書</b>					
<b>第1節 聖なる書</b>					
1	ヴァチカン写本(複製)	Vatican Codex (Facsimile)	4世紀/羊皮紙	縦29.5×横36.0	ヴァチカン図書館
2	リンディスファーン福音書(複製)	Lindisfarne Gospels (Facsimile)	イギリス/698年/羊皮紙	縦36.5×横30.5	大英図書館
3	ゲティの黙示録(複製)	The Getty Apocalypse (Facsimile)	イギリス/13世紀半ば	縦32.6×横23.5	J・ポール・ゲティ美術館
4	ヴェリ斯拉フ聖書(複製)	Velislaus Bible (Facsimile)	チェコ/14世紀前半	縦30.7×横24.5	チェコ共和国国立図書館
5	貧者の聖書(複製)	Paupers' Bible (Facsimile)	1425～50年頃	縦37.0×横28.0	ヴァチカン図書館
6	ケニコット聖書(複製)	Kennicott Bible (Facsimile)	スペイン/1476年	縦31.0×横30.0	オックスフォード大学ボドリアン図書館
<b>第2節 祈りの書</b>					
7	フランス時祷書「詩編」	French Book of hours, Psalms	フランス/1450年頃/羊皮紙	縦23.0×横16.0	
8	フランス時祷書「全使徒への祈り」	French Book of hours, Prayer to the apostles	パリ(フランス)/1510～20年/羊皮紙	縦16.0×横10.5	
9	ロスチャイルド詞集(複製)	Rothschild Miscellany (Facsimile)	イタリア/1470年頃/羊皮紙	縦24.2×横18.5	イスラエル博物館
10	聖母マリアの小聖務日課書	The Little Office of the Blessed Virgin Mary	1480年頃	縦15.0×横9.9	
11	トリノ=ミラノ時祷書(複製)	Turin-Milan Hours (Facsimile)	フランス/14～15世紀	縦29.2×横21.5	トリノ国立図書館
12	ロザリオ祈祷書	Rosary Prayer Book	イタリア/1556年/紙製、活版、木版	縦15.0×横10.5	
13	典礼聖歌「待降節第四主日」	Hymnbook, 4th Sunday of Advent	17世紀/羊皮紙、手彩色	縦68.2×横47.3	
14	典礼聖歌「聖務日課」	Hymnbook, Liturgy of the Hours	17世紀/紙製、活版、木版、二色刷り	縦47.5×横60.8	
<b>第2章 思想の広がり—印刷技術の発明と改革</b>					
<b>第1節 活版印刷と宗教改革</b>					
15	42行聖書(複製)	42-line Bible (Facsimile)	ドイツ/1455年頃/羊皮紙、活版、手彩色	縦47.0×横37.5	国立プロイセン財団図書館およびフルダ州立図書館
16	ラテン語聖書	Bible leaf in latin	ニュルンベルク(ドイツ)/1478年/紙製、活版、手彩色	縦41.0×横29.0	
17	聖句註解付きラテン語聖書	Latin Bible with Postil	ヴェネツィア(イタリア)/1481年/紙製、活版、手彩色	縦31.0×横21.0	
18	聖ヒエロニスム『マタイ福音書註解』	Saint Jerome's Commentary on Matthew	ヴェネツィア(イタリア)/1498年/紙製、活版、木版	縦34.0×横22.5	
19	神曲	Divine Comedy	ヴェネツィア(イタリア)/1491年/紙製、活版、木版	「煉獄篇」 縦31.2×横20.6 「天国篇」 縦30.7×横19.7	
20	ティンダル訳聖書(複製)	Tyndale Bible (Copy)	ウォルムス(ドイツ)/1526年/紙製、活版	縦19.0×横17.0	不明
21	チューリッヒ聖書	Zurich Bible	チューリッヒ(スイス)/1531年/紙製、活版	縦34.0×横24.0	
22	ルター訳聖書(複製)	Luther Bible	ドイツ/1545年/活版	縦25.7×横18.0	
23	ルター訳聖書	Luther Bible	ウォルムス(ドイツ)/1763年/紙製、活版、銅版	縦17.0×横11.2	

	資料名	英訳	年代/製作者/材質・形態	法量 (cm : 縦×横)	所蔵
<b>2節 対抗宗教改革と布教活動</b>					
24	欽定訳聖書(複製)	King James Version (Copy)	ロンドン(イギリス) / 1611年 / 紙製、活版、紙製	縦44.0×横33.0	不明
25	アジア新図	Map of Asia	アムステルダム(オランダ) / 1623年 / 銅版、紙製、手彩色	縦52.5×横64.3	
26	聖フランシスコ・ザビエル像	Statue of St. Francis Xavier	ゴア(インド) / 18世紀 / 木製、着色	高20.5×幅8.5×奥行7.0	
27	聖フランシスコ・ザビエル伝	Biography of Life of St. Francis Xavier	ローマ(イタリア) / 1793年 / 紙製、銅版	縦19.8×横14.0	
28	サントスのご作業の内抜書(複製)	Lives of the Christian Saints published in Japan (Copy)	日本 / 1591年 / 紙製、活版	縦16.0×横11.0	マルチャーナ国立図書館
29	サカラメンタ提要(複製)	Learner's Manual about the Sacraments published in Japan (Copy)	日本 / 1605年 / 紙製、活版	縦22×横16.5	上智大学 キリシタン文庫
<b>第3章 受容のかたち—世界の聖画像</b>					
<b>第1節 東方正教会の聖画像</b>					
30	キリスト降誕	Nativity of Christ	ギリシャ / 20～21世紀 / 木製、着色	縦25.0×横19.0	
31	聖母子	Madonna and Child	ロシア / 19世紀 / 木製、着色	縦25.5×横18.0	
32	キリストの鞭打ち	Flagellation of Christ	ロシア / 木製、着色	縦5.5×横4.5	
33	全能者キリスト	Christ Pantocrator	ギリシャ / 20～21世紀 / 木製、着色	縦19.0×横15.0	
34	聖母の庇護	Intercession of the Virgin Mary	ロシア / 18世紀 / 木製、着色	縦44.2×横39.4	
35	タルスの聖ボンファティウスと聖アナスタシア	St. Bonifatius of Tarsus and St Anastasia	ロシア / 19世紀 / 木製	縦8.8×横7.1	
36	聖ワシーリーと聖ヨハネス・クリュストモス	St. Basil the Hermit and St Joannes Chrysostomos	ロシア / 19世紀 / 木製	縦8.8×横6.8	
37	受胎告知と諸聖人	Annunciation and Saints	ルーマニア / 19～20世紀 / ガラス製、着色	縦71.0×横61.0	
38	聖ニコラウス	St. Nicholas	ドイツ / 19世紀 / ガラス製、着色	縦44.2×横38.9	
<b>第2節 布教活動と聖画像</b>					
39	マリア観音像	Statue of Mary Kannon	中国 / 18～19世紀 / 陶製	高24.0×幅10.5×奥行6.2	
40	聖イシドルスと祈祷者	St. Isidore and a prayer	フィリピン / 19世紀 / 木製、着色	縦35.2×横21.5	
41	悲しみのマリア	Mary of Sorrows	フィリピン / 18世紀 / 木製、着色	縦33.3×横25.5	
42	磔刑	Crucifixion	ボホール島(フィリピン) / 18世紀 / 木製、着色	縦64.0×横42.5	
43	聖母マリア像	Statue of Madonna	フィリピン / 19世紀 / 木製、着色	高36.5×幅17.6×奥行10.4	
44	無原罪懐胎の聖母像	Statue of the Immaculate Conception	フィリピン / 18世紀 / 木製、着色	高27.5×幅8.9×奥行9.0	
45	聖ロクス像	Statue of St. Roch	フィリピン / 19世紀 / 木製、着色	高32.0×幅18.0×奥行8.0	
46	サント・ニーニョ像	Statue of the Child Jesus in Cebu	フィリピン / 19世紀 / 木製、着色	高23.0×幅12.0×奥行5.6	
47	フキラの聖母への奉納画	Ex-voto to Virgin of Juquila	プエブラ(メキシコ) / 1939年 / プリキ製、着色	縦20.0×横26.0	
48	サポパンの聖母への奉納画	Ex-voto to Virgin of Zapopan	ハリスコ(メキシコ) / 1952年 / プリキ製、着色	縦30.5×横19.0	
49	聖フランシスコへの奉納画	Ex-voto to St. Francis of Assisi	ハリスコ(メキシコ) / 1952年 / プリキ製、着色	縦28.6×横18.3	
50	聖母への奉納画	Ex-voto to Virgin	メキシコ / 20～21世紀 / 金属製、着色	縦23.0×横28.0	

## 企画展

### 「西南学院とW. M. ヴォーリズ」実施報告

会期：2018年2月1日(木)～3月24日(土)

会場：西南学院大学博物館1階廊下、2階講堂

本展は、西南学院のシンボルである旧本館（現在の大学博物館）に焦点を当て、完成当時の写真や建築仕様書をもとに西南学院の歴史と旧本館の設計者W. M. ヴォーリズとの関わりについてパネルで紹介した。また、階段や窓など当時の姿を残す館内の各所にキャプションを設置することによって建物自体を展示資料のひとつとし、竣工から現在に至るまで100年近い時を経ている当館の歴史に思いをはせていただくことを目的とした。



## 常設展示室テーマ展示 関谷定夫コレクション展 「ユダヤの信仰－トーラーと祭具－」実施報告

会期：2017年8月17日（木）～2018年1月29日（月）

2017年6月11日、西南学院大学神学部名誉教授の関谷定夫先生が逝去されました（享年91）。聖書考古学を専門とする関谷先生は、長年にわたって聖書考古学資料とユダヤ教の祭具（ジュダイカ）関連のコレクションを蒐集してこられ、2014年には約400にもものぼるコレクションを当館に寄贈されました。本展示では、関谷先生への追悼の意を込めて、先生の貴重なコレクションのうち、ユダヤの信仰と祝祭において使用される、巻物状の書（トーラー）とその書を彩る祭具をご紹介します。



## 常設展示室テーマ展示 「聖なる礼拝－アイコン×クリスマス」実施報告

会期：2017年12月1日（金）～2018年1月8日（土）

本展示では、前年度に引き続き、「クリスマス」をテーマにした展示を行った。クリスマスは、イエス・キリストの降誕を記念する日であり、キリスト教文化圏外においても知られる祭日である。聖書によれば、ベツレヘムで生まれたイエスを羊飼いや東方の三博士たちが祝福しに駆け付けたという。その様子はアイコン（聖画像）やプレゼピオ（クリスマスが近づくと教会や家庭で飾られる人形模型）で表されている。本展示で紹介した《東方三博士の礼拝》もそのうちのひとつであり、星に導かれてイエスのもとにたどり着いた三人の博士たちがそれぞれ贈り物を捧げている様子が描かれている。

展示資料《東方三博士の礼拝》

17世紀以降 フランドル



## 1.2 共同連携事業による展示活動

【南島原市】

### 南島原市×西南学院大学博物館連携特別展 「島原大移住－戦乱の終わりから復興へ－」事業報告



共催：南島原市・西南学院大学博物館  
会期：2018年2月1日(木)～3月4日(日)  
会場：口之津図書館3階ホール

特別展関連公開講演会

日時：2018年2月17日(土)  
会場：口之津公民館2階講堂  
題目：「近世初期の百姓と統治権力」  
講師：稲葉継陽氏(熊本大学附属永青文庫研究センター)

ギャラリートーク

担当：南浦利早(南島原市教育委員会文化財課)

#### 事業内容

西南学院大学博物館では2015年3月に、南島原市と研究協定を締結し、相互の特色を生かしたサテライト展示を行っている。それらの連携事業のひとつの結実として、2015年度より、連携特別展を協力して開催している。本展覧会では、島原天草一揆後に行われた移住の歴史を紹介した。また、平成28年度に南島原市で移住関係資料として新たに発見された「阿波郡新開見付之帳」・「南蛮流医薬書」を初公開し、現在の南島原市の原型を作った人々の姿と歴史を追った。地域の方々に郷土の歴史について周知できるよい機会となった。

#### 開催概要

寛永15年2月に終結した島原天草一揆は、島原と天草の住民で構成される3万人超もの一揆軍のほぼ全てが壊滅することとなった。一揆後の島原と天草は、住民が激減し、荒廃した。そこで江戸幕府は、両地の復興策として九州諸藩や天領を中心とした西日本一帯に、島原と天草へ百姓を移住させるよう命令を出した。以降、両地には、各地から人々が移住し、村々の立て直しが行われることとなる。中には、新天地を求め自ら移住する「走百姓」も多数おり、その移住と返還をめぐる交渉

に幕府や各藩は奔走する。このようにして、一揆後の島原と天草の復興は、各地からやってきた人々によって成し遂げられた。

## 1. 移住のはじまり－幕府の移住令と各地の対応－

寛永19年(1642)7月16日、江戸幕府は、九州諸藩・天領を中心に島原・天草一揆で荒廃した両地へ百姓を移住させるよう求めた奉書を発給した。これを受け、各地では、移住者の選定や準備に奔走した。ここでは、幕府の移住令を受けてから移住が完了するまで、どのような経緯を経ていたのかを解説した。

## 2. 走る百姓－「百姓悉く島原へ」－

江戸幕府や島原藩では、移住者を募るため、移住者に対するさまざまな優遇措置をとった。そのため、新天地を求め自ら移住する「走百姓」も多数あった。中でも大村藩では、1600人規模で領民が島原藩へ走っており、その移住と返還をめぐる交渉は、難航した。ここでは、大村藩から島原藩への走百姓について紹介した。



## 3. 移住者の記録・記憶

平成28年度、口之津歴史民俗資料館において、一揆後の移住に関するものと考えられる新たな古文書が見つかった。「阿波郡新開見付之帳」と「南蛮流医薬書」である。これまで、移住者側に残された記録は限られており、移住の実態の多くは幕府・藩政側の史料をもとに研究されてきた。今回、新たに見つかった資料は、阿波郡からの移住を示唆しているもので、昭和56年以降、旧口之津町に寄贈されるまで、代々個人宅で大切に保管されてきたものである。ここでは、移住者側に残された記録から、現在の南島原市をつくった人々の姿を追った。



# 産官学連携サテライト展示Ⅹ 「有馬氏と島原・天草一揆」実施報告



会期：2017年7月29日(土)～11月  
会場：南島原市原城図書館

有馬氏は、1614(慶長19)年に日向国延岡(現在の宮崎県)に転封となるまで島原の地を治めていた。その後1616(元和2)年に島原へ松倉氏が入封する。松倉氏の苛政に苦しんだ領民たちは、今からちょうど380年前の1637(寛永14)年、島原・天草一揆を起こした。天草四郎時貞を総大将とした一揆勢の抵抗は激しいものであり、鎮圧には幕府軍にあわせて九州の諸大名、オランダ船も加わった。有馬氏も幕府軍として参加し、旧領民と戦うことになった。1638(寛永15)年2月28日の原城総攻撃を受けて落城するまで、原城を舞台に一揆勢と幕府軍が繰り広げた戦乱は、まさに日本史上の一画期となる出来事であった。本企画展では、島原・天草一揆を、有馬氏との関わりを中心に概観した。



## 相互貸借特集展示Ⅸ

### 「幕府軍が見た島原・天草一揆－延岡藩主有馬直純の陣跡－」



会期：2017年8月18日（金）～2017年12月7日（木）

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

1637（寛永14）年に勃発した島原・天草一揆。翌1638（寛永15）年2月の原城籠城戦では、一揆軍約3万人に対し、幕府軍は九州各藩から参加した12万もの連合軍と化した。

一揆の様子は、最終戦地である原城跡の遺物や各藩に残る古文書や絵図によってさまざまな角度からの研究蓄積がある。しかし、「陣跡」の調査研究はいまだ不十分な状況であり、膨大に残る文献史料や絵図と発掘調査が課題として挙げられる。そこで、南島原市では、2011（平成22）年から2012

（平成23）年にかけて、延岡藩有馬氏の陣跡推定地の発掘調査を行った。本展示では、その成果を踏まえて、幕府軍として参戦した延岡藩・有馬氏の陣跡を紹介した。



## 相互貸借特集展示Ⅹ

### 「中世島原半島の信仰とキリスト教」

会期：2017年12月15日（金）～2018年3月8日（木）

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

1978年（昭和54）、有家町力野（現・南島原市有家町力野）の温泉神社（四面宮）周辺の道路拡張工事の際、約300基もの五輪塔や宝篋印塔（ほうきょういんとう）などの石塔類が出土した。出土した石塔群は、いずれもバラバラに壊された状態で、形状などから14世紀から16世紀後半までのものである。それは、島原半島を治めた領主・有馬晴信のキリスト教改宗に伴い、1580年（天正8）に、キリシタンによる寺社破壊が行われたことを物語っている。

本展では、その事実を踏まえ、島原半島がキリシタンの世界へと変貌する16世紀におけるキリスト教の受容と対立について、出土した石塔群やキリシタン墓碑から紹介した。

南島原市 × 西南学院大学博物館 相互貸借特集展示Ⅹ

入場無料

中世島原半島の  
信仰とキリスト教

2017年12月15日（金）  
～2018年3月8日（木）

西南学院大学博物館  
1階常設展示室

福岡市早良区西新3丁目13番1号  
TEL.092-820-4785  
開館 10時～18時（入館は17時30分まで）  
休館日 日曜日

【國學院大學博物館】

## 相互貸借特集展示 XV 「中世墓と蔵骨器」実施報告

会期：2017年5月25日（木）～9月28日（木）

会場：西南学院大学博物館 1階常設展示室

主催：國學院大學博物館

中世には、土壙墓・集石墓・塚墓や、これに石塔を伴う事例など、多様な墓が造営された。國學院大學が実習調査を実施した東京都三宅島の物見処遺跡でも、経石を伴う塚墓状の遺構が複数確認されている。なお、13世紀以降になると、僧侶や武家に火葬が普及し、陶磁器や銅製・石製・木製の蔵骨器を納めた墓が広く見られるようになった。とくに武家の墓では、舶載磁器や古瀬戸の梅瓶・四耳を用いた蔵骨器が多用されていた。本展覧会では、蔵骨器と物見処遺跡からの出土品を紹介した。



## 相互貸借特集展示 XVI 「転びキリシタン」実施報告

会期：2017年7月8日（土）～2017年11月10日（金）

会場：國學院大學博物館

主催：西南学院大学博物館

江戸幕府はキリスト教の信仰を禁止し、キリスト教を排除するために、さまざまな政策を行った。それにより多くのキリシタンたちは棄教する。彼らは転びキリシタンと呼ばれた。

本展示では、転びキリシタンと彼らへの対応に注目し、江戸幕府の徹底した禁教政策の一端を紹介した。



## 相互貸借特集展示 XVII 「東北の遠の朝廷－城柵による辺境支配－」実施報告

会期：2017年9月29日（金）～2018年2月23日（金）

会場：西南学院大学博物館 1階常設展示室

主催：國學院大學博物館

律令期の地方官庁は、「遠（とお）の朝廷（みかど）」とも称される。とりわけ、筑前国の大宰府は、東アジアに開かれた外交・防衛や、西海道諸国の広域行政を担った。また、九州南部の「隼人（はやと）」や、東北北部の「蝦夷（えみし）」との紛争に備えて、軍事・行政拠点である城柵を設け、これを維持するために柵戸を移住させる政策がとられた。東北地方の城柵には、陸奥国府が置かれた多賀城や、渤海使を接遇していた可能性も指摘されている出羽国の秋田城などがある。本展覧会では、東北地方の城柵と、その関連遺跡から出土した資料を通して、古代における辺境支配の一端を紹介する。



## 相互貸借特集展示 XVIII 「和約聖書の数々～開国から大正改訳まで～」実施報告

会期：2017年11月12日（日）～2018年3月17日（土）

会場：國學院大學博物館

主催：西南学院大学博物館

日本が事実上の開国を果たした直後より、横浜に滞在していた宣教師らによって、和訳聖書の編纂が開始される。すべての民衆がわかる言葉で教理を語る必要のある聖書であったが、幕末～明治初期の日本は共通語が存在しない。身分・職業・性別・地方などによる違いなど、多くの困難のもとで宣教師たちは和訳事業に携わった。

本展覧会では、当館が所蔵する幕末の開国から大正改訳にかけての和訳聖書の展示を通じ、その一端を紹介した。

## 相互貸借特集展示 XIX 「発掘された縄文時代早期の人骨 - 居家以岩陰遺跡の発掘調査 -」

会期：2018年2月23日（金）～2018年6月27日（水）

会場：西南学院大学博物館 1階常設展示室

主催：國學院大學博物館

國學院大學考古学研究室では、平成26（2014）年から群馬県吾妻郡長野原町居家以（いよいよ）岩陰遺跡の学術調査を実施し、縄文時代における山地・資源利用と行動復原に関する調査研究に取り組んできた。

本展示では、発掘された縄文時代早期の埋葬人骨と出土遺物を中心に研究成果の報告と、出土品の展示・紹介を行った。



## 相互貸借特集展示 XX 「ユダヤ教のお祭り - 過越祭 -」実施報告

会期：2018年3月18日（日）～2018年9月1日（土）

会場：國學院大學博物館

主催：西南学院大学博物館

ユダヤ教の三大巡礼祭のひとつである過越祭（ペサハ）。聖典で語られるイスラエルの民の出エジプトと解放を記念する過越祭では、セデルと呼ばれる特別な正餐が催される。

本展示では中世の写本に描かれた過越祭の様子や、セデルで用いられる道具などを紹介し、ユダヤ教の祭りについて展示・紹介を行った。



## 2. 教育活動

### 博物館実習

#### 実習概要

2017年度は実習生7名を受け入れ、8月18日(金)、8月21日(月)から8月26日(土)、企画展の撤収日である10月28日(土)の計8日間の博物館実習を実施した。また実習生1名については後日、別日程で個別実習を実施した。

初日は午前基礎実習となるオリエンテーションを行い、博物館所蔵資料の取り扱い方や学芸員の基本業務である調書作成の指導をした。午後からは実習の最終目標である企画展(博物館実習成果展)の計画に取り組んだ。ここでは実習生は二つのグループにわかれ、企画書を作成した。

実習二日目は、二つのグループによる企画展案のプレゼンテーションを行った。SNSの活用に着眼点を置いたA案と、関谷定夫コレクションを中心としたB案が発表され、学芸員と学芸研究員2名による選考の結果、A案が採用された。午後には、印刷業者を招致し、博物館ニュースをはじめとした博物館刊行物に関する講義を行った。

実習三日目から五日目は、実習成果展の準備に取り組んだ。採用されたA案をもとに企画書の練り直しを行い、全員が役割(リーダー、副リーダー、博物館ニュース、ワークショップ、デザイン)を担い企画展作業を進めた。

実習六日目は企画展の設営を行った。博物館1階特別展示室を会場とし、資料の梱包、搬出、搬入、造作等を学芸員指導のもとに行い、設営を完了させた。

実習七日目は、企画展の開催とワークショップを実施した。小学生を対象としたワークショップでは、実習生による企画展の案内からワークシートを用いた展示クイズ、資料のスケッチやキャプションづくりを行った。作成したキャプションは実際に展示室内に設けたケースに展示した。

実習最終日は、企画展の撤収を行った。設営のときと同様に、資料の梱包から搬出入、後片付けを行い、博物館業務における企画展の一連の作業を終了した。

#### 【2017年度博物館実習生】

古川 詩織(文学部)／柴田 真理子(法学部)／大久保 遥香(法学部)／田部 敦也(法学部)／跡部 寧勇(法学部)／江口 遥香(法学部)／伊藤 貴佳子(人間科学部)／西山 萌(国際文化学部)

#### 【実習風景】





## 西南学院大学博物館実習スケジュール

	8/18(金)	8/21(月)	8/22(火)	8/23(水)
午前	10:30 百周年館1階集合	9:50 準備	10:00 博物館集合	9:50 準備
	オリエンテーション ・資料の取り扱い ・資料台帳作成	10:00 企画展案発表 ・プレゼンテーション ・投票  企画展各担当決め	企画展作業	10:00 企画展作業
昼食(12:00~13:00)				
午後	13:00 企画展の作り方について ・過去の特別展	13:00 企画展とワークショップ	13:00 企画展作業	13:00 企画展作業
	13:30 企画展を考える ・企画書作成	14:00 印刷について ・博物館ニュース		
	17:30 実習日誌作成	15:00 企画展作業		
	18:00 戸締り・点検	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成
	18:20 解散	18:20 解散	18:20 解散	18:20 解散
場所	博物館研究室(百年館3階)	博物館研究室(百年館3階)	西南コミュニティーセンター	西南コミュニティーセンター

	8/24(木)	8/25(金)	8/26(土)	10/28(土)
午前	9:50 準備	9:50 準備	9:50 準備	13:30 企画展撤収(博物館)
	10:00 企画展作業	10:00 企画展 設営 ※汚れてもいい、動きやすい服装	10:00 企画展 最終調整 11:00 ワークショップ準備 ・展示案内練習	
昼食(12:00~13:00)				
午後	13:00 企画展作業	13:00 企画展設営	13:00 ワークショップ準備	
			14:00 ワークショップ開始	
			16:00 ワークショップ終了	
	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成	18:00 実習日誌作成	
	18:20 解散	18:20 解散	18:20 解散	
場所	西南コミュニティーセンター	西南コミュニティーセンター	西南コミュニティーセンター	

## 博物館実習成果展区

# 「つながる、つなげる、つないでいく～#かわいいを結んでいく～」 実施報告

会期：2017年8月26日（土）～10月27日（金）

会場：西南学院大学博物館 1階特別展示室

2017年度博物館実習成果展では、西南学院大学博物館が所蔵する資料を実習生が選別し、特別展示室で企画展示を行った。テーマを設定し、開催概要、キャプション、解説パネル、資料目録、解説シート、アンケート、ポスターや小物の作成、設営を行った。SNSの活用に着眼点を置き、来場者にSNSでの発信を促すような工夫も取り入れられた。

## 【開催概要】

キリスト教やその母体となったユダヤ教について世界からの観点、更に、博多からの観点で身近に感じない宗教をより近くに、学ぶきっかけになってもらいたいと思い、開催の運びとなった。

第一章はメキシコのキリスト教信仰の奉納画、第二章はユダヤ教の重要な通過儀礼である結婚について、第三章は福岡の伝統工芸とキリスト教の融合についてである。

更に、楽しみ方の一つとして、撮影可能コーナーで、SNS・インスタグラムを来場者に活用してもらうことで身近に宗教について楽しく学んでもらいながら歴史について知ってもらうことを目的としている。

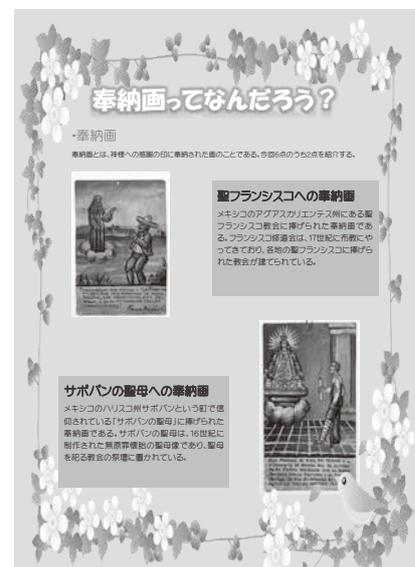
西南学院博物館のコレクションから実習生が厳選してみた、思わず撮ってみたいくなるような「kawaii」を皆さんも探してみてください。

## 【章設定】

第1章「つながる～奉納画と工芸品～」、第2章「つなげる～約束と結婚～」、第3章「つないでいく～キリスト教と博多～」

## 【教育プログラム・イベント】

せいなんこどもワークショップ「夏休みこども学芸員体験！～作品をつくって展示しよう～」



## ■出品目録

	資料名	英語名	作者	時代	形状	法量(cm)	制作地
1	ヴィジャセカのキリストへの奉納画	Ex-voto to Christ of Villaseca		1937年	ブリキ製	縦19.3×横28.5	ハリスコ(メキシコ)
2	サポバンの聖母への奉納画	Ex-voto to Virgin of Zapopan		1952年	ブリキ製、着色	縦30.5×横19.0	ハリスコ(メキシコ)
3	主への奉納画	Ex-voto to GOD		1907年	ブリキ製	縦30.5×横19.5	オアハカ(メキシコ)
4	聖フランシスコへの奉納画	Ex-voto to St. Fransisco of Assisi		1952年	ブリキ製、着色	縦28.6×横18.3	ハリスコ(メキシコ)
5	グアダルーベの聖母への奉納画	Ex-voto to Virgin of Guadalupe		20～21世紀	金属製、着色	縦23.0×横28.0	メキシコ
6	聖パスカリスへの奉納画	Ex-vototo St.Paschalis		1927年	ブリキ製、着色	縦28.4×横19.5	メキシコ
7	琉球張り子 聖パスカリス	Ryukyu papier-mache	豊永盛人	2017年	和紙、にかわ、胡粉、顔料	幅4.0×高8.0×奥4.0	沖縄
8	琉球張り子 グアダルーベの聖母	Ryukyu papier-mache	豊永盛人	2017年	和紙、にかわ、胡粉 顔料	幅7.0×高10.5×奥3.5	沖縄
9	メズーザー	Mezuzah Case			陶製	縦14.4×横4.5	
10	結婚指輪	Wedding Ring			銀製	高7.0×幅4.0×奥行2.0	
11	ハヌカ・コマ	Hanukkah Spinning Top			銀製	高9.5×幅6.5×奥行3.9	
12	スピボン(ハヌカ・コマ)	Hanukkah Spinning Top			陶製	縦9.8×横×3.9	
13	ケトゥバー(複製)	Ketubbah(Copy)			紙製、額縁	縦45.1×横29.0	
14	ケトゥバー(複製)	Ketubbah(Copy)			紙製、額縁	縦55.8×横43.1	
15	ケトゥバー(複製)	Ketubbah(Copy)			紙製、額縁	縦76.5×横49.0	
16	トーラーとトーラーマントル	Torah and Torah Mantle		19世紀	巻物:羊皮紙/ 巻棒:木製/ マントル:布製	幅41.0×長2339.5/長71.0/ 縦45.2×横25.3	
17	ケテル・トーラー(冠)	Keter Torah(Crown)			銅製	直径28.5×高35.0	
18	聖母マリアの聖心	The Immaculate Heart of Mary	博多織伝統工芸士 木村佐次男	1991年	絹製	縦61.0×横52.7	福岡
19	葦の海のモーセ	Moses crossing the Sea	博多人形伝統工芸士 高山高夫	2000年代	土製	縦28.0×横28.0	福岡
20	マリアの涙	Mary of tears	博多人形伝統工芸士 高山高夫	2000年代	土製	直径30.0	福岡
21	イエスの涙	Christ of tears	博多人形伝統工芸士 高山高夫	2000年代	土製	縦33×横26	福岡

## 【展示作業の様子】



## 【会場風景】



## 【会期中来館者数】開催日数54日

	来館者数
8月26日	57
8月28日	0
8月29日	6
8月30日	7
8月31日	5
9月1日	1
9月2日	26
9月4日	9
9月5日	1
9月6日	1
9月7日	13
9月8日	27
9月9日	27
9月11日	3
9月12日	7
9月13日	2
9月14日	21
9月15日	152

	来館者数
9月16日	22
9月18日	15
9月19日	5
9月20日	51
9月21日	54
9月22日	2
9月23日	7
9月25日	100
9月26日	7
9月27日	250
9月28日	15
9月29日	21
9月30日	31
10月2日	28
10月3日	21
10月4日	20
10月5日	2
10月6日	88

	来館者数
10月7日	18
10月9日	12
10月10日	3
10月11日	5
10月12日	112
10月13日	61
10月14日	14
10月16日	4
10月17日	12
10月18日	62
10月19日	79
10月20日	159
10月21日	5
10月23日	92
10月24日	14
10月25日	54
10月26日	264
10月27日	8
合計	2082

## 【アンケート】

来館日	年齢	性別	ご職業	実習成果展のきっかけ	よかった点	改善すべき点	満足度	感想等
8月26日	64	男	無職	その他 (コミュニティーセンターに来た)	初めて来ましたので、全て目を見張りました。	思いつきません	満足	資料が豊富で沢山いただきました。ありがとうございました。
8月26日	60	男	無職	コミュニティーセンターへ来ての帰り	写本		満足	しっかり博物館のPRをいつもして下さい。
8月30日	9	女	小学生	知人からの紹介	むかしがそのままのこっていた。	教室などもみたかった。	満足	
9月1日	30	男	予備校講師	SNS (facebook)	普段見ることのできない珍しい資料がたくさん見れた点。(実習成果展と聞いて予想していた数を大きく超える数の資料がみれました)。奉納画の邦訳や説明のチラシがあった点。コンセプトがしっかりしていて、かつ面白いと思いました。チラシの裏の資料目録もよかったです。	「かわいい」のポイントについて説明がほしかった。キャプションの位置がいくつかわかりませんでした。琉球張り子についての説明が無かったので、それが欲しかった。子どもワークショップの成果物について何か説明が欲しかった。	満足	企画展の雰囲気と、キャプションの「だ・である」調が、少し違和感がありました(個人的な感想ですが)。あと、アンケートを座って書けるスペースがあれば、と思いました。
9月9日	24	男	学生	知人からの紹介	今まで見たことのないのが見れた。		大変満足	
9月9日	37	女	主婦		子どもらの工作、ほのほのしました。	順路が少々分かりにくく感じました。	満足	魔鏡が貸し出し中とのことで見られず残念でした。

来館日	年齢	性別	ご職業	実習成果展のきっかけ	よかった点	改善すべき点	満足度	感想等
9月12日	76	男	牧師	ポスターを見て	写本	特にありません。	満足	
9月15日	69	男	農業	その他(ダイレクトメール)	展示室Ⅱを指していると思われるが、資料館が身近に感じられた。	特になし	満足	博物館の地道な活動を感じました。久しぶりで、展示が一新されフレッシュさを感じました。
9月19日	20	女	学生	SNS(ツイッター)	キャプションがかわいかった。今までにない展覧会で楽しかった。現代の作品も多く取り扱っており、おもしろかった。		大変満足	
9月22日	19	女	学生	その他(授業でのアナウンス)	展示品ごとの撮影不可の注意書きがとてでも分かりやすかったです。キャプションのデザインがかわいくて読みやすかったです。		大変満足	全体を通してかなりいい展示がなされていて、楽しむことができました。初めて見る展示物も多かった。展示方法やキャプションなど、とても勉強になりました。
10月9日	26	女		知人からの紹介	大学生の方々が1つの展覧会をしっかりと立てられ、展示を行っていらっしゃることに驚きました。キャプションやパネルのデザイン等もこられており、素晴らしいと思います。		大変満足	また、来年も楽しみにしております。
10月18日	28	女	会社員	その他(通りがかりに)			大変満足	素晴らしい建物ですね。ありがとうございました。

## 2017年度 せいなんワークショップ概要

2017年度は「せいなんワークショップ」を計5回開催した。

**第一回 5月13日(土)～5月20日(土) 聖書植物園の散策を楽しもう！**

**会場：西南学院大学博物館、聖書植物園 対象：一般**

博物館で配布する散策マップに記されたクイズに答えながら学内の聖書植物園の散策を行った。



**第二回 7月22日(土) 九州すごろくであそぼう！**

**会場：西南学院大学博物館、西南学院大学百年館 対象：小学生 参加者：18名**

春季特別展「島原半島の信仰と歴史 - 一揆とその後の松平氏治世 -」関連イベント。九州に関する歴史を学んだ後、旧国や藩を題材としたすごろくを行った。



**第三回 8月26日(土) 夏休み子ども学芸員体験～作品をつくって展示しよう～**

**会場：西南学院大学博物館、西南コミュニティーセンター 対象：小学生 参加者：19名**

夏休みせいなん子どもワークショップ。2017年度の博物館実習生が学芸員の仕事を紹介し、子どもたちと一緒に展示会のキャプション作りや展示を行った。



#### 第四回 12月16日(土) クリスマスカードをつくろう

会場: 西南学院大学博物館、西南コミュニティーセンター 対象: 一般 参加者: 27名

秋季特別展「キリスト教の祈りと芸術 - 装飾写本から聖画像まで -」関連イベント。クリスマスやカリグラフィーに関する展示を見学した後、カリグラフィー専用のペンや金箔を使ってクリスマスカード作りを行った。



#### 第五回 12月1日(金)～12月23日(土) クリスマスツリーを飾ろう！

会場: 西南学院大学博物館エントランス 対象者: 一般

クリスマス関連イベント。クリスマスツリーやメッセージボードの装飾を行った。



## 2017年度 せいなんおでかけワークショップ概要

おでかけワークショップを実施して4年目となる2017年度は、南島原市にて計3回のワークショップを実施した。

7月29日(土) オリジナル缶バッジをつくろう!

会場: 南島原市原城図書館 対象: 小学生 参加者: 19名

南島原市の歴史について学んだ後、子どもたちが自由に絵を描き、オリジナルの缶バッジを作成した。



7月29日(土) ペーパークラフトをつくろう～ノアの方舟～

会場: 南島原市西有家図書館 対象: 小学生 参加者: 27名

「ノアの方舟」の物語を学習した後、図書館所蔵の絵本を参考にして、好きな動物たちを描いた画用紙を組み立て、オリジナルの方舟作りを行った。



2月10日(土) 絵のナゾを読む!～絵のナゾをといて、オリジナル缶バッジをつくろう～

会場: 南島原市北有馬図書館 対象: 小学生 参加者: 20名

イエス・キリストの誕生に関する聖書の物語を学んだ後、当館所蔵の《キリストの降誕》のイコンを素材としたシートを使って絵解きを行った。



## 2017年度 博物館教職員活動記録

後藤新治 (本学博物館長・国際文化学部教授)

### 【論文】

- ・「ディヴェルティスマン あるいは占領期のジョルジュ・ルオー」(『出光美術館館報』179号、2017年5月)
- ・「1904-1912年のカンディンスキーとルオー—アンデパンダン展とサロン・ドートンヌの出品作をめぐって」(宮城県立美術館&パナソニック汐留ミュージアム『表現への情熱展図録』、2017年8月)
- ・「ルオーの〈風景〉をめぐって—パナソニック汐留ミュージアム所蔵《人物のいる風景》を手がかりに」(パナソニック汐留ミュージアム ルオーコレクション名作選 新装版、2018年3月)

### 【翻訳】

- ・「ジョルジュ・ルオー年譜 1871-1958」(パナソニック汐留ミュージアム ルオーコレクション名作選 新装版、2018年3月)

### 【資料紹介】

- ・「19世紀イギリスステンドグラス《天国の門(復活したキリストと天国の鍵を持つペテロ)》」(西南学院大学図書館ART、2017年4月)

### 【講演会】

- ・「ジョルジュ・ルオーと3つの戦争」(宮城県立美術館、2017年9月)

### 【講座】

- ・「イタリア未来派」(エクステンション講座「地中海文化紀行～イタリア文化の旅」、西南学院大学コミュニティセンター、2017年6月)

### 【TVインタビュー出演】

- ・「報道ランナー「マティスとルオー」文章を〈黒塗り〉の真相は？」(関西テレビ、2017年5月)

### 【委員】

- ・パナソニック汐留ミュージアム・ルオーギャラリー顧問
- ・福岡市美術館協議会委員・会長
- ・福岡市美術館ロゴ・シンボルマーク選考委員会委員長

内島美奈子 (2017年度本学博物館学芸員)

### 【論文】

- ・「大学博物館が取り組む実践的的学生教育—西南学院大学博物館の学芸調査員制度を事例に—」(『西南学院大学博物館研究紀要』第6号、2018年)

山尾彩香 (本学博物館学芸研究員)

### 【論文】

- ・「無原罪の御宿りにみる対抗宗教改革と布教のかたち」(『西南学院大学博物館研究叢書キリスト教

の祈りと芸術－装飾写本から聖画像まで－』2017年11月)

- ・「博物館学芸員養成課程との連携－学生と考える、学生のための西南学院大学博物館－」(『西南学院大学博物館研究紀要』第6号、2018年3月)

**野藤妙** (本学博物館学芸研究員)

### 【資料紹介】

- ・「西南学院大学博物館所蔵「筑後国宗門手形」」(『西南学院大学博物館研究紀要』第6号、2018年3月)

### 【講座】

- ・「江戸時代における禁教政策～九州を巡って」(エクステンション講座「アジアへの玄関口：福岡・博多の歴史と文化をキリスト教とその背景や周辺から今後を学ぶ」、西南学院大学コミュニティセンター、2017年10月)

**宮川由衣** (本学博物館学芸調査員・本学国際文化研究科研究生)

### 【論文】

- ・「M・シャガールの《燃える柴の前のモーセ》をめぐる－「見られざる神」の動的顕現とその表象－」(『西南学院大学博物館研究紀要』第6号、2018年)

### 【講座】

- ・「遠藤周作と長崎～一枚の踏絵から」(エクステンション講座「アジアへの玄関口：福岡・博多の歴史と文化をキリスト教とその背景や周辺から今後を学ぶ」、西南学院大学コミュニティセンター、2017年10月)

### 【研究助成】

- ・研究課題「シャガールの聖書表象における第二次世界大戦の影響」本学教育インキュベートプログラム「アート生成現場での実習体験を重視するパリ芸術高等学院 (IESA) との学部間国際交流プログラム－留学生受け入れ可能なカリキュラムの再構築をめざして」
- ・研究課題「M・シャガールの《燃える紫の前のモーセ》をめぐる－「見られざる神」の動的顕現とその表象」本学大学院国際文化研究科2017年度「先進研究奨励」費

# 博物館刊行物・成果物

## 西南学院大学博物館 研究紀要第6号

A4版  
144頁  
発行日  
2018年3月15日

目次

— 論 文 —  
幕藩体制下のキリシタン禁教政策  
— 熊本藩を中心に — 島 由季  
安高 啓明 ..... 116 (29)

大学博物館が取り組む実践的学生の教育  
— 西南学院大学博物館の学芸調査員制度を事例に — 内島 美奈子 ..... 5

J. E. ミレイ《両親の家のキリスト》における風俗画的要素  
— 作品受容をめぐる — 出口 智佳子 ..... 17

博物館学芸員養成課程との連携  
— 学生と考える、学生のための西南学院大学博物館 — 山尾 彩香 ..... 31

中世後期における聖人崇敬  
— 時禱書における執り成しの祈りとその神学的解釈について — 下園 知弥 ..... 45

M・シャガールの《燃える柴の前のモーセ》をめぐる  
— 「見られざる神」の動的顕現とその表象 — 宮川 由衣 ..... 61

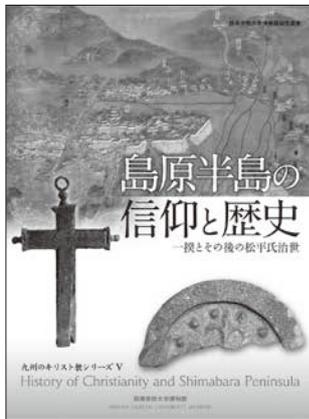
— 研究ノート —  
大学文書館における展示活動  
— 西南学院史資料センターを事例として — 出口 智佳子 ..... 75

— 資料紹介 —  
西南学院大学博物館所蔵  
「リラのニコラウスによる聖句註解付きラテン語聖書」 下園 知弥 ..... 83

西南学院大学博物館所蔵「筑後国宗門手形」 野藤 妙 ..... 105 (40)

## 春季特別展 研究叢書

B5版  
79頁  
発行日  
2017年6月12日  
編者 野藤妙  
内島美奈子



## 秋季特別展 研究叢書

B5版  
79頁  
発行日  
2017年11月13日  
編者 内島美奈子  
山尾彩香



目次

ご挨拶 西南学院大学博物館館長 後藤新治 ..... 2

ご挨拶 南島原市長 松本政博 ..... 3

開催概要 4/島原藩領町村一覧、凡例 6

I 島原半島とキリスト教 ..... 7

第1章 有馬氏の海外交流 ..... 7

【コラム】キリシタン墓碑の保存整備  
糸島市教育委員会文化課主事 秋田雄也 ..... 13

第2章 島原・天草一揆の顛末 ..... 15

II 島原藩深溝松平氏の治世 ..... 29

第1章 深溝松平氏について ..... 29

第2章 島原藩の禁教政策 ..... 39

第3章 島原藩と災害 島原大変 ..... 47

【コラム】寛政4年島原大変とその後の復興  
西南学院大学博物館学芸員 野藤妙 ..... 54

第4章 島原藩の終焉 ..... 55

【コラム】第一次・第二次長州征討と島原藩  
下関市立歴史博物館学芸員 稲益あゆみ ..... 60

島原・キリスト教関係年表 ..... 62

論考  
熊本藩軍功意識と創造された天草四郎像  
熊本大学大学院人文社会科学部准教授 安高啓明 ..... 64

島原・天草一揆後の復興と移住政策  
長崎県南島原市教育委員会文化財課文化財調査員 南浦利早 70

日本キリスト教史における文化財の保護と活用 南島原市との連携  
事業を通して  
西南学院大学博物館学芸員 内島美奈子、  
西南学院大学博物館学芸員 野藤妙・山尾彩香 ..... 74

出品目録 ..... 78

目次

ご挨拶 西南学院大学博物館館長 後藤新治 ..... 2

開催概要/凡例 ..... 4

第1章 信仰の芸術 聖書写本と祈禱書 ..... 6

第1節 聖なる書 ..... 6

【コラム】伝承されるヘブライ語聖書  
西南学院大学図書館ラーニングサポートスタッフ 佐藤友梨 ..... 13

第2節 祈りの書 ..... 14

【コラム】ペリー公の時禱書の世界—「トリノ=ミラノ時禱書」—  
西南学院大学博物館学芸員 山尾彩香 ..... 19

第2章 思想の広がり 印刷技術の発明と改革 ..... 26

第1節 活版印刷と宗教改革 ..... 26

【コラム】宗教改革と聖書 藤川学園非常勤講師 下園知弥 32

【コラム】イギリスの宗教改革と英訳聖書 佐賀大学美術館学芸員 出口智佳子 36

第2節 対抗宗教改革と布教活動 ..... 37

第3章 受容のかたち 世界の聖画像 ..... 42

第1節 東方正教会の聖画像 ..... 42

【コラム】イコノクラスム（聖像破壊運動）を超えて  
西南学院大学博物館学芸員 宮川由衣 ..... 47

第2節 布教活動と聖画像 ..... 50

用語解説 62/キリスト教史年表 ..... 64

論考  
「もの」としての聖書、「もの」としてのイコン  
東北学院大学教授 鐸木道剛 ..... 66

祈りの道具にみる聖と俗 時禱書を中心に  
西南学院大学博物館学芸員 内島美奈子/  
藤川学園非常勤講師 下園知弥 ..... 69

無原罪の御宿りにみる対抗宗教改革と布教のかたち  
西南学院大学博物館学芸員 山尾彩香 ..... 74

出品目録 ..... 78

博物館ニュース Volume.31

【2000部発行 発行日2017年6月】



Volume.31 所蔵品紹介：関谷定夫コレクション「ハヌキヤ」 聖書植物園紹介：ミルトス 博物館通信：せいなんワークショップ「聖書植物園の散策を楽しもう」 特別展紹介：九州のキリスト教シリーズV「島原半島の信仰と歴史——揆とその後の松平氏治世——」

博物館ニュース Volume.32

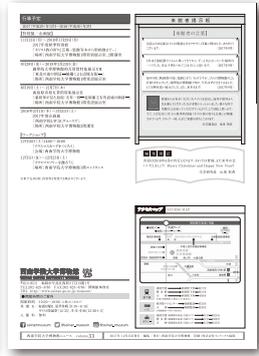
【2000部発行 発行日2017年9月】



Volume.32 所蔵品紹介：「聖ペテロと聖パウロ」 聖書植物園紹介：ムラサキゴジアオイ（没薬） 博物館通信：せいなん子どもワークショップ「九州すごろくであそぼう」 特別展紹介：2017年度博物館実習成果展「つながる つなげる つないでいく #かわいいを結んでいく」

博物館ニュース Volume.33

【2000部発行 発行日2017年12月】



Volume.33 所蔵品紹介：【日本キリスト教史】「紙路絵」 聖書植物園紹介：オリーブ 博物館通信：2017年度博物館実習成果展「つながる・つなげる・つないでいく #かわいいを結んでいく」 特別展紹介：2017年度博物館秋季特別展「キリスト教の祈りと芸術—装飾写本から聖画像まで—」

## 博物館講堂使用状況

期日	使用時間	使用団体(者)	集会名称	人数
4月6日	10:00~12:10	西南学院大学神学部	神学部始業礼拝・開講講演会	70
4月7日	13:00~14:00	日本と西洋の文化的交流B	留学生授業	15
4月14日	9:00~12:00	西南学院中学校	西南学院中学校新入生 オリエンテーション	264
4月26日	15:00~18:00	西南学院大学チャペルクワイア	リハーサル練習	20
5月10日	15:00~18:00	西南学院大学チャペルクワイア	リハーサル練習	20
5月20日	15:30~17:00	博多学	博多学	50
6月1日	16:50~18:20	博物館概論	博物館概論	19
6月7日	15:00~18:00	西南学院大学チャペルクワイア	リハーサル練習	20
6月14日	15:00~18:00	西南学院大学チャペルクワイア	リハーサル練習	20
6月15日	13:30~15:00	西南学院大学神学部	神学部学術講演会	38
7月1日	14:00~16:00	博物館	特別展関連講演会	150
7月12日	9:00~12:40	キリスト教学	キリスト教学「聖書と音楽」	120
9月16日	14:00~17:00	古澤先生を囲む会	古澤先生を囲む会	15
9月27日	18:00~20:00	西南学院高等学校同窓会	故志岐司お別れの会	250
11月16日	13:00~17:30	西南学院大学フラウエンコール	リハーサル練習	30
11月17日	12:30~15:30	西南学院大学フラウエンコール	リハーサル練習	30
11月18日	10:00~14:00	西南学院大学フラウエンコール	リハーサル練習	30
11月19日	12:00~16:30	「ことばの力」養成講座	ブックオカ 「中江有里トークショウ」	50
11月22日	17:40~20:00	キリスト教保育連盟	福岡地区クリスマス会	160
11月25日	13:00~14:30	博物館	公開講演会	47
12月7日	16:50~18:20	博物館経営論	博物館経営論	18
2月16日	13:00~16:00	西南学院大学神学部	松見俊教授最終講義	50
3月19日	12:30~15:30	西南学院大学神学部	神学部卒業礼拝	100
3月24日	8:00~12:00	English Camp	English Camp	50
月曜日	11:00~12:00	西南学院大学神学部	神学部チャペル	50
火曜日	13:30~16:40	西南学院大学神学部	教会音楽研究	18

### 3. 来館者動向

#### 来館者統計

2017年度

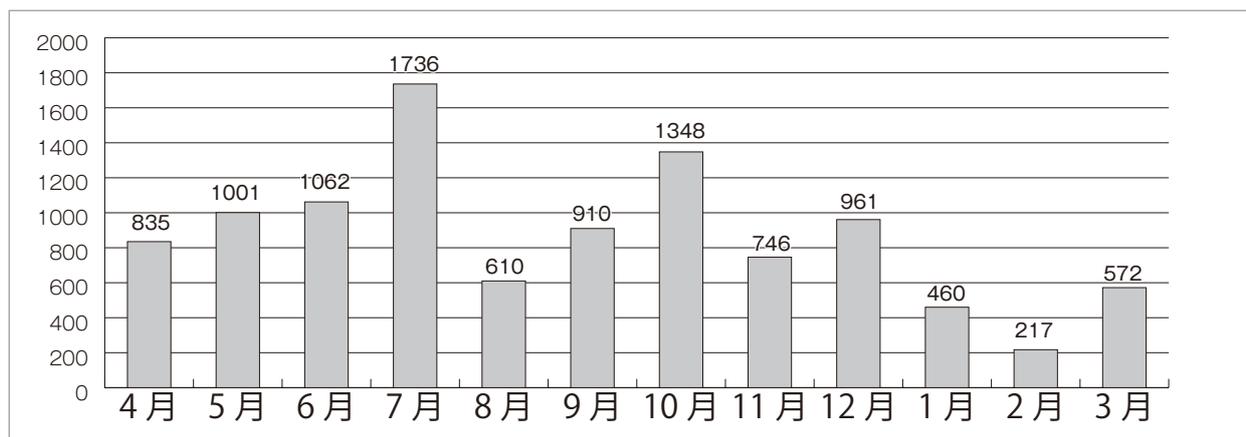
開館以来来館者数 148,544人  
 2017年度来館者数 10,458人  
 2006~2016年年度来館者数 138,086人  
前年度人数 10,694人 (前年度比 -2.2%)

#### 2017年度 月別来館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	25	27	26	25	20	26	26	27	22	23	24	27	298	
学内	教職員	83	15	17	20	3	0	21	22	19	2	28	4	234
	本学学生	194	420	352	324	41	105	236	160	136	66	51	173	2,258
	学内小計	277	435	369	344	44	105	257	182	155	68	79	177	2,492
学外	大人(一般)	272	364	452	649	349	510	566	501	335	355	123	331	4,807
	他大学生	5	64	53	39	4	14	5	23	18	8	5	8	246
	高校生	2	105	20	539	147	115	510	6	265	7	1	40	1,757
	中学生	253	5	0	38	7	142	0	0	151	4	0	7	607
	小学生	7	13	156	113	51	12	1	19	26	11	6	7	422
	幼児	19	15	12	14	8	12	9	15	11	7	3	2	127
	学外小計	558	566	693	1,392	566	805	1,091	564	806	392	138	395	7,966
海外居住者	37	89	37	152	36	4	27	41	31	133	25	43	655	
男女比	男性	149	199	261	263	186	104	115	141	142	107	52	102	1,821
	女性	150	144	221	207	232	120	264	192	135	138	41	76	1,920
	不明	536	658	580	1,266	192	686	969	413	684	215	124	394	6,717
合計	835	1,001	1,062	1,736	610	910	1,348	746	961	460	217	572	10,458	

#### 月別来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
835	1,001	1,062	1,736	610	910	1,348	746	961	460	217	572



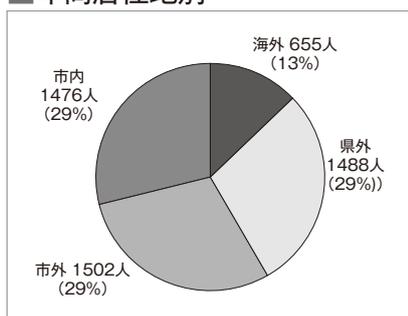
#### 月別開館日数 (単位：日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	27	26	25	20	26	26	27	22	23	24	27	298

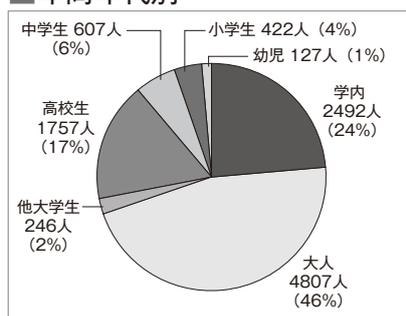
#### 月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
33.4	37.1	40.8	69.4	30.5	35.0	51.8	27.6	43.7	20.0	9.0	21.2	35.0

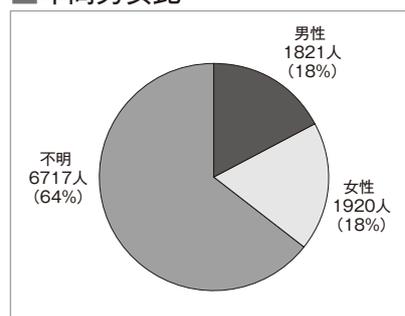
#### 年間居住地別



#### 年間年代別



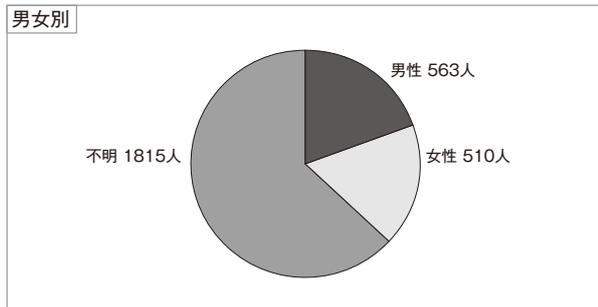
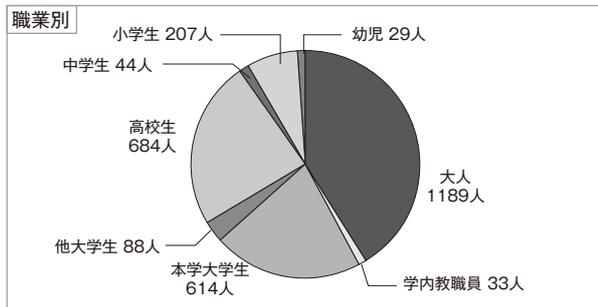
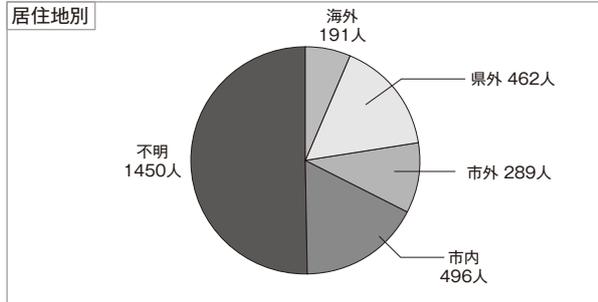
#### 年間男女比



## 特別展期間中来館者動向

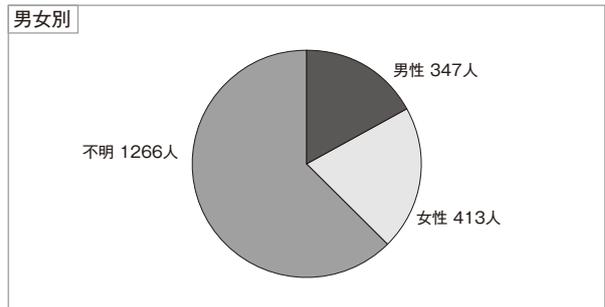
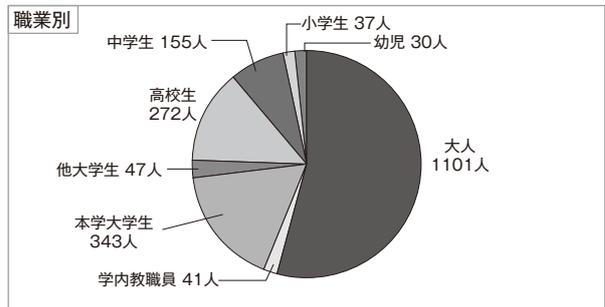
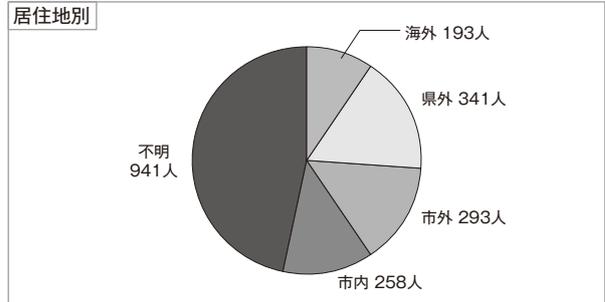
### ■第21回特別展

西南学院大学博物館2017年度春季特別展  
九州のキリスト教シリーズV  
「島原半島の信仰と歴史—一揆とその後の松平治世—」  
開催期間：2017年6月12日～8月7日 開催日数：50日 総来館者数：2,888人

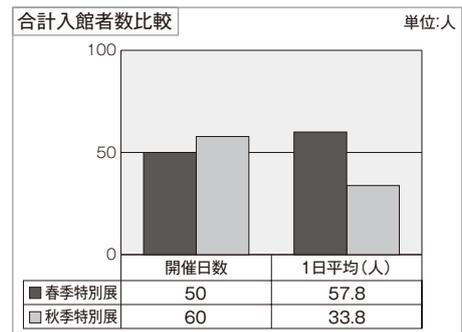
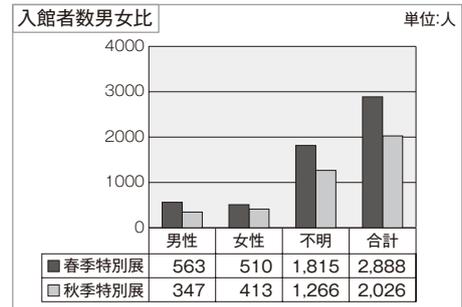
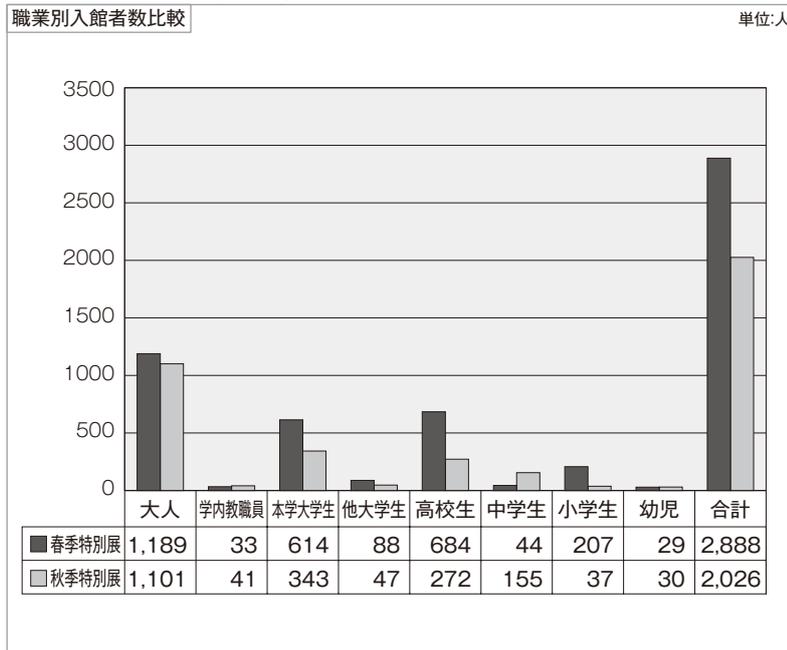


### ■第22回特別展

西南学院大学博物館2017年度秋季特別展  
「キリスト教の祈りと芸術—装飾写本から聖画像まで—」  
開催期間：2017年11月13日～2018年1月29日  
開催日数：60日 総来館者数：2,026人



### ■2017年度春季・秋季特別展 入館者数比較



## 来館団体一覽

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
4月4日	11:00~11:05	新任教職員オリエンテーション・見学	50
4月7日	13:00~14:00	留学生授業	15
4月10日	13:00~14:30	後藤新治先生「博物館の世界」講義	33
4月13日	9:00~9:30	萩原友一先生「基礎演習」講義	19
4月13日	9:30~10:00	山崎先也先生「基礎演習」講義	20
4月14日	9:00~12:00	西南学院中学校オリエンテーション	264
4月14日	11:30~12:00	野藤妙先生「文化基礎論」講義	5
4月17日	13:00~14:30	後藤新治先生「博物館の世界」講義	30
4月24日	13:00~14:30	後藤新治先生「博物館の世界」講義	30
5月12日	10:00~10:30	福岡講倫館高校	100
5月18日	13:00~13:30	韓国国立大学生	10
5月20日	15:30~17:00	西部地区五大学連携「博多学」講義	50
5月24日	12:30~13:30	バンコク郡青少年交流団	30
5月25日	9:00~10:30	宮平望先生「キリスト教学I」講義	60
5月25日	10:40~12:10	宮平望先生「キリスト教学I」講義	62
5月26日	9:00~10:30	宮平望先生「アメリカ思想文化論A」講義	60
5月26日	10:40~12:10	宮平望先生「キリスト教人間学A」講義	66
5月30日	10:00~11:00	韓国教会関係者	21
6月1日	10:00~11:30	西南学院小学校	68
6月1日	16:50~18:20	伊藤慎二先生「博物館概論」講義	19
6月14日	11:10~12:40	村岡伸秋先生「基礎演習」講義	20
6月15日	15:10~16:40	村岡伸秋先生「演習」講義	12
6月15日	10:00~10:30	沖繩尚学高校	20
6月17日	11:30~13:00	九州産業大学博物館実習	40
6月20日	16:50~18:20	内島美奈子先生「博物館情報・メディア論」講義	15
6月21日	9:00~10:30	伊藤慎二先生「考古学」講義	11
6月27日	11:00~11:30	夏期日本語研修キャンパスツアー	40
6月28日	10:30~12:00	筑紫丘小学校	78
6月29日	10:30~12:00	糸島市東風公民館	28
6月29日	15:10~16:40	安高啓明先生「日本キリスト教史」講義	3
6月30日	15:30~16:00	鬼本佳代子先生「博物館教育論」講義	15
7月3日	11:00~11:30	下関南高校PTA	20
7月3日	13:00~14:30	後藤新治先生「博物館の世界」	26
7月4日	14:30~15:00	大分鶴崎高校PTA	55
7月5日	14:00~15:00	対馬市立東部中学校	13
7月5日	14:00~15:00	枕崎中学校	21
7月6日	12:00~13:00	須恵高校	120
7月7日	14:00~14:30	下関南高校	40
7月11日	11:00~11:30	西南学院小学校	75
7月11日	14:00~14:30	光陵高校	40
7月12日	9:00~10:30	松谷暉介先生「キリスト教学I」講義	50
7月12日	11:10~12:40	松谷暉介先生「キリスト教学I」講義	70
7月13日	12:40~13:20	福岡舞鶴高校	73
7月13日	16:50~18:20	安高啓明先生「日本史概論A」講義	15
7月18日	11:30~12:30	伊佐勝秀先生「演習」講義	26
7月20日	13:00~14:00	西南学院高校	36
7月21日	10:00~10:30	佐賀清和高校	150
7月21日	10:40~12:10	後藤新治先生「基礎演習」講義	13
7月21日	13:00~14:00	テキサス大学	20
7月24日	10:30~12:00	八幡中央高校	40
7月24日	14:00~15:00	北筑高校	40
8月17日	13:00~14:00	留学生別科キャンパスツアー	21
8月17日	14:00~15:00	夏休みこども防災教室	22
8月22日	11:00~12:00	杵築高校PTA	30

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
8月25日	13:00~12:00	諫早高校	21
9月4日	11:30~12:00	熊本県立第一高校PTA	40
9月8日	14:30~15:00	新宮高校	19
9月14日	11:00~12:00	宮崎大宮高校PTA	10
9月15日	14:00~15:00	志摩中学校	140
9月20日	10:40~11:10	玄海高校	45
9月21日	15:00~15:30	神埼高校	50
9月25日	10:00~10:30	武井俊詳先生「西南学院史」講義	90
9月27日	18:00~20:00	志岐さんを偲ぶ会	250
10月5日	10:00~10:30	嘉穂東高校	40
10月5日	10:30~11:00	大分西高校PTA	40
10月6日	15:00~15:30	太宰府高校	80
10月11日	10:30~11:00	佐賀北高校PTA	70
10月12日	10:30~12:00	朝倉高校PTA	80
10月18日	10:30~11:00	小郡高校PTA	45
10月18日	13:00~14:00	下関中等教育学校PTA	40
10月19日	10:30~12:00	門司学園高校 保護者	60
10月20日	9:30~10:00	宮平望先生「アメリカ思想文化論B」講義	40
10月20日	12:00~13:00	大分高校	90
10月23日	10:30~12:00	明光学園高校	88
10月25日	9:30~10:00	宮平望先生「キリスト教学」講義	40
10月25日	10:00~11:00	福岡市美術館ボランティア	10
10月26日	9:30~10:00	宮平望先生「キリスト教学」講義	40
10月26日	11:30~12:30	宮平望先生「キリスト教学」講義	40
10月26日	13:00~13:30	武蔵台高校	170
10月31日	14:00~14:30	小倉東高校	50
11月1日	11:00~12:00	西南学院小学校	11
11月2日	12:00~13:00	壱岐高校	5
11月9日	10:00~11:30	恵泉幼稚園「聖書」サークル	10
11月15日	13:30~15:00	松原知生先生「専門演習」講義	18
11月15日	16:50~18:20	内島美奈子先生「博物館経営論」講義	13
11月24日	10:00~10:30	熊本北高校PTA	35
11月24日	11:30~12:00	嘉穂高校PTA	30
11月24日	14:30~15:30	後藤新治先生「文化基礎論」講義	23
11月25日	12:00~13:00	百道浜老人クラブ	20
12月5日	10:50~11:30	田川高校	40
12月6日	12:00~13:00	佐世保高校	130
12月6日	13:30~15:00	東興大学	12
12月7日	12:00~13:00	八女学院中学校	150
12月7日	16:50~18:20	内島美奈子先生「博物館経営論」講義	18
12月8日	14:00~15:00	博多高校	15
12月11日	14:00~15:10	柏陵高校	80
12月15日	10:40~12:10	山田順先生「基礎演習」講義	15
12月15日	12:00~13:00	西京高校PTA	40
12月16日	11:00~12:00	野藤妙先生「日本史概論B」講義	12
12月16日	16:00~16:40	福岡県ヘリテージマネージャー養成会	30
1月15日	14:00~15:00	須恵町共生の町づくり推進協議会子育て支援部会	19
1月16日	12:30~13:30	ベスウエル教会	17
1月21日	16:00~17:00	熊本YMCA	20
3月12日	15:30~16:00	歴史研究会	30
3月14日	11:00~13:00	韓国長老派宣教師団	33
3月14日	12:30~13:00	老人ホーム	20
3月19日	13:00~13:30	創成館高校	35
3月29日	13:30~14:00	西南学院大学法科大学院新入生	10

## 4. 博物館規定

### 西南学院大学博物館規程

2005（平成17）年10月5日  
制定

（趣旨）

第1条 この規程は、西南学院大学学則（1949（昭和24）年4月1日）第5条に基づき、西南学院大学（以下「本学」という。）に設置する博物館に関する必要な事項を定める。

（名称及び位置）

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
西南学院大学博物館（ドージャー記念館）	福岡市早良区西新三丁目13番1号

（目的）

第3条 西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事項を目的とする。

- (1) キリスト教文化、教育文化、地域文化、西南学院史等に関する博物館資料（以下「資料」という。）の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関する事項
- (2) 前号の資料の調査研究に関する事項
- (3) 本学学生、教職員等の西南学院関係者並びに一般市民等の教養及び調査研究に資するために必要な事業の実施に関する事項

（事業）

第4条 博物館は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図表、写真、スライド、ビデオ、DVD、CD等の収集、整理、保管、閲覧及び展示
- (2) 資料に関する専門的及び技術的な調査研究の実施
- (3) 本学学生、教職員等の学院関係者及び一般市民等への資料に関する必要な解説、助言、指導等
- (4) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助
- (5) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査報告書等の作成及び頒布
- (6) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借の実施
- (7) 本学学生に対する博物館実習の実施
- (8) その他必要と認められる事業

（職員）

第5条 博物館に、館長その他必要な職員を置く。

第6条 館長は、館務を統括し、博物館を代表する。

2 館長は、本学の専任教授のうちから、博物館長選考委員会（以下「委員会」という。）の推薦に基づき、部長会議の承認を経て、学長がこれを補する。

3 委員会は、次に掲げる委員4名をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 神学部長
- (3) 人間科学部長
- (4) 国際文化学部長

4 館長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

第7条 博物館に、博物館教員として学芸員を置く。

2 前項の他に学芸員資格を有する本学教員を加えることができる。

3 博物館教員は、資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査研究その他これに関する事項について、専門的業務を行う。

4 博物館教員は、学芸員課程及び専門分野の授業を担当することができる。

第8条 博物館に総合企画部博物館事務室（以下「博物館事務室」という。）を置き、事務職員、学芸研究員及び学芸調査員を配置する。

2 事務職員は、博物館運営に係る事項及び庶務の事項を行う。

3 学芸研究員は、博物館教員の専門的業務及び事務職員の業務を補佐する。

4 学芸調査員は、学芸研究員の業務及び事務職員の業務を補佐する。

（博物館協議会）

第9条 博物館に、館長の諮問に答えるための機関として西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第10条 協議会に関する事項は、西南学院大学博物館協議会規則（2005（平成17）年10月5日）に定める。

（博物館の管理運営）

第11条 博物館の利用及び管理運営については、西南学院大学博物館管理運営規則（2005（平成17）年 月 日）（以下「管理運営規則」という。）に定める。

(規格外事項の処理)

第12条 この規程に定めのない事項で博物館に関して必要な事項は、協議会の意見を聴いて、館長が定める。

(所管部署)

第13条 この規程に関する事務は、博物館事務室の所管とする。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、管理運営規則第12条に規定する博物館管理運営委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、2006（平成18）年4月1日から施行する。

2 初代館長の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず、2006（平成18）年4月1日から2007（平成19）年6月30日までとする。

附 則

この規程は、2014（平成26）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館協議会規則

2005（平成17）年10月5日  
制定

### （趣旨）

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程（2005（平成17）年10月5日）第9条に規定する西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

### （所掌事項）

第2条 協議会は、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応えるとともに、博物館の行う博物館資料の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関して調査審議し、館長に意見を述べるものとする。  
2 前項の博物館資料の収集については、西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規（2016（平成28）年3月9日）に定める。

### （委員）

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

### （会長及び副会長）

第6条 協議会に、会長及び副会長各1名を置く。

第7条 会長及び副会長は、委員の互選によるものとし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 会長は、会務を総理する。

第9条 副会長は、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

### （会議の招集）

第10条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

- 2 館長が必要と認めたときは、会長に協議会の招集を求めることができる。

### （議決）

第11条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

### （補則）

第12条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### （所管部署）

第13条 この規則に関する事務は、総合企画部博物館事務室の所管とする。

### （規則の改廃）

第14条 この規則の改廃は、協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

### 附 則

- 1 この規則は、2006（平成18）年4月1日から施行する。
- 2 初代委員及び同会長、同副会長の任期は、第5条及び第7条の規定にかかわらず、2006（平成18）年4月1日から2007（平成19）年6月30日までとする。

### 附 則

この規則は、2016（平成28）年4月1日から施行する。

### 附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

# 西南学院大学博物館管理運営規則

2005（平成17）年10月5日  
制定

## （趣旨）

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程（2005（平成17）年10月5日）第11条に基づき、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の利用及び管理運営について定める。

## （休館日）

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭（12月25日）
- (3) 年末年始の休日（12月28日から1月5日）

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。ただし、この場合は、館長は、その都度あらかじめ日時を公示しなければならない。

## （開館時間）

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、入館は午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、当該時間を変更することができる。

## （入館料）

第4条 入館料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示など館長が必要と認めるときは、有料とすることができる。

## （入館の制限）

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、入館を禁じ、又は退館を命じることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、展示品、保管物又は施設設備を損傷するおそれがあると認められるとき
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき
- (3) その他管理上支障があると認められるとき

## （資料の閲覧等）

第6条 館長が必要と認めるときは、利用者の依頼により、その調査研究の用に供するために、博物館の所蔵する資料（以下「資料」という。）の閲覧又は複写を許可することができる。

2 資料の閲覧又は複写をしようとする者は、あらかじめ資料の閲覧又は複写の申請をしなければならない。

第7条 次に該当する資料は、閲覧又は複写を制限することがある。

- (1) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (2) 現に展示中のもの
- (3) 寄託された資料及び借用した資料で、寄託者又は貸出者の承諾を得ていないもの
- (4) その他館長が不相当と認めたもの

## （資料の貸出し）

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、資料の館外貸出しを行うことができる。

- (1) 博物館その他これに相当する施設が行う展示の用に供するとき
- (2) 学校が授業の用に供する場合で、館長が適当と認めるとき
- (3) その他館長が適当と認めるとき

2 資料の館外貸出しを希望する者は、別に定めるところにより、館長の許可を受けなければならない。

3 資料の館外貸出しの許可を受ける者は、資料借用書を館長に提出しなければならない。

4 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、館長の指示するところにより、管理にあたらなければならない。

5 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、当該資料を他に転貸してはならない。

6 資料の貸出期間は、館長がその都度定める。

## （損害の賠償）

第9条 見学者等の博物館の利用者又は資料の館外貸出しの許可を受けた者が、故意又は過失など自己の責に帰すべき理由により、施設設備、展示資料又は貸出資料を損傷し、又は滅失したときは、館長の指示を受けてこれを原形に復し、又は館長が定める相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。ただし、館長が特にやむを得ない事情があると認めるときは、この限りではない。

## （資料の寄贈）

第10条 博物館は、資料の寄贈を受けることができる。

2 博物館に資料を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄贈を受けることを決定した場合は、本人にこの旨を通知するものとする。

4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を表記し、永くその篤志を伝える。

## （資料の寄託）

第11条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

2 博物館に資料を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄託を受けることを決定した場合は、寄託者にこの旨を通知するものとする。

4 寄託資料の寄託期間は、その都度館長が寄託者と協議して定める。

- 5 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同一の取扱いとする。
- 6 寄託資料は、あらかじめ定められた寄託期間にかかわらず、寄託者の請求又は博物館の都合により、これを返還することがある。
- 7 寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損傷又は滅失したとき、博物館は損害賠償の責を負わない。

(博物館管理運営委員会)

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 大学事務長
- (4) 博物館事務室責任者
- (5) 博物館教員

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

(議決)

第19条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(補則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

(所管部署)

第21条 この規則に関する事務は、総合企画部博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第22条 この規則の改廃は、委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、2006（平成18）年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014（平成26）年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規

2006(平成18)年6月14日  
制定

## (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館管理運営規則(2005(平成17)年10月5日)第20条の規定に基づき、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂(以下「講堂」という。)の使用に関する事項を定める。

## (目的)

第2条 講堂は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第3条の目的を達成するための活動の場として供することを目的とする。

## (使用許可要件)

第3条 西南学院大学博物館長(以下「館長」という。)は、次に掲げる事項に該当する場合、講堂の使用を許可する。ただし、本学の建学の精神に反する目的及び内容である場合は、この限りでない。

- (1) 大学が主催する行事(授業及びチャペル・アワーを含む)
- (2) 大学学生団体が主催し、かつ、学生部長が認めた行事
- (3) 大学教職員が主催する行事
- (4) 大学同窓会が主催する行事
- (5) その他、特に館長が許可する行事

## (使用時間)

第4条 講堂の使用時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、館長が必要と認めるときは、この限りでない。

## (休館日)

第5条 次に掲げる休館日は、講堂を使用できないものとする。ただし、館長が必要と認めるときは、この限りでない。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日まで)
- (4) 館長が、建物又は備品の修理その他の理由により必要と認めた日

## (使用願の提出)

第6条 講堂の使用を希望する者又は団体(以下「使用者」という。)は、所定の使用願を総合企画部博物館事務室(以下「事務室」という。)に提出し、館長の許可を受けなければならない。この場合において、使用者が、時間外又は休館日の使用を希望するときも同様とする。

- 2 前項の使用願の申込み期限は、使用予定日の1か月前とする。

## (講堂使用料)

第7条 講堂の使用料は、無料とする。ただし、第3条第3号及び第4号に該当し、かつ、入場料を徴収する行事又は第3条第5号に該当する行事は、有料を原則とする。

- 2 前項ただし書に該当する場合の使用料金及び時間外管理経費は、次に掲げるとおりとする。

使用料金(税込み)	時間外管理経費(税込み)
1時間当たり5,000円	5時間以内 10,000円
	5時間超 20,000円

## (講堂内の禁止行為)

第8条 講堂内においては、次に掲げる行為を禁止する。

- (1) 火気の使用
- (2) 許可なく物品の販売を行うこと
- (3) 許可なく金品の寄付募集を行うこと
- (4) 許可なく展示、掲示及び広告又は宣伝を行うこと
- (5) 飲食及び飲酒
- (6) 喫煙
- (7) 凶器及び危険物等の搬入
- (8) 喧騒にわたる行為
- (9) スパイクシューズ及び下駄ばき
- (10) 許可なく備品(長椅子等)を移動すること

## (臨時設備及び物品の搬入、搬出)

第9条 使用者が、その活動のために臨時設備を施し、又は講堂常備品以外の物品を搬入しようとするときは、あらかじめ館長の許可を受け、係員の指示に従わなければならない。

- 2 臨時設備又は物品の搬出に遅滞があった場合は、館長が適宜に措置を講ずることができるものとする。この場合において、搬出費用は、使用者の負担とする。

## (使用の取消又は中止)

第10条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用許可を取消し又は使用を中止させることができる。

- (1) 建物又は備品等を破壊するおそれがあるとき
- (2) 秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき
- (3) 虚偽の申込みが判明したとき
- (4) 事務室の指示に従わなかったとき
- (5) その他管理上支障があると認めるとき

(損害賠償)

第11条 使用者は、建物、付帯設備、備品等を汚損、破壊又は滅失した場合、事務室に届け出て、その損害を賠償しなければならない。

(所管部署)

第12条 この内規に関する事務は、事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、博物館管理運営委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2006（平成18）年6月14日から施行する。

附 則

この内規は、2010（平成22）年5月12日から施行する。

附 則

この内規は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館(ドージャー記念館)パイプオルガンの管理及び使用に関する内規

2007(平成19)年5月24日  
制定

## (趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)設置のパイプオルガンの管理及び使用を円滑に行うため、必要な事項を定めるものとする。

## (管理)

第2条 パイプオルガンの管理は、学長の委嘱により博物館長及び大学事務長が協議の上、これにあたる。

## (委員会の構成)

第3条 第1条の事項を協議するためパイプオルガン管理運用委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 大学事務長
  - (2) 学院宗教主事(音楽担当)(以下「宗教主事」という。)
  - (3) 博物館教員
  - (4) 学長が委嘱する教員(神学部教員を含む)若干名
  - (5) 総務課長
  - (6) 施設課長
  - (7) キリスト教活動支援課長
  - (8) 博物館事務室責任者(以下「責任者」という。)
- 3 前項第4号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

## (委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、大学事務長がこれにあたる。

2 委員長に事故あるときは、前条第2項の委員の互選によりこれを定める。

## (招集及び議事)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

## (使用対象者)

第6条 パイプオルガンの使用は、博物館長が講堂の使用を認めた行事に際し、次に掲げる者に限り認めるものとする。

- (1) 宗教主事
- (2) 宗教主事が推薦する者
- (3) パイプオルガンを使用する授業科目担当者及び受講生
- (4) 学長が特に推薦する者

## (使用時間)

第7条 パイプオルガンの使用時間は、午前10時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

## (使用手続等)

第8条 パイプオルガンの使用を希望する者は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規(2006(平成18)年6月14日)第6条第1項の使用願により許可を得るものとする。

2 パイプオルガン使用の際は、博物館事務室係員の指示に従うものとする。

## (使用者の管理義務)

第9条 パイプオルガンの使用者は、次に掲げる事項について特に注意しなければならない。

- (1) パイプオルガン使用中の鍵の管理
  - (2) 使用後のパイプオルガンの施錠
  - (3) 鍵の返却
- 2 故障又は調整の必要が生じた時は、直ちに宗教主事及び責任者に通知すること。

## (定めのない事項)

第10条 パイプオルガンの管理及び使用について、この内規に定めのない事項については、必要に応じ学長と大学事務長が協議の上、決定する。

## (所管部署)

第11条 この内規に関する事務は、総合企画部博物館事務室の所管とする。

## (内規の改廃)

第12条 この内規の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

## 附 則

この内規は、2007(平成19)年5月24日から施行し、2007(平成19)年5月15日から適用する。

附 則  
この内規は、2009（平成21）年7月30日から施行する。

附 則  
この内規は、2014（平成26）年4月1日から施行する。

附 則  
この内規は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

## 西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規

2016（平成28）年3月9日  
制定

### （趣旨）

第1条 この内規は、西南学院大学博物館協議会規則（2005（平成17）年10月5日）第2条第2項に基づき、博物館資料の収集に必要な事項を定めるものとする。

### （委員会の設置）

第2条 博物館において所蔵する資料の収集を適正かつ円滑に行うため、博物館資料収集検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### （委員会の構成）

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 博物館長（以下「館長」という。）
  - (2) 館長が委嘱する専任教員若干名
  - (3) 博物館教員
  - (4) 大学事務長
- 2 次条第1項第1号の資料を審議する場合は、前項の委員の他に当該資料に関する専門家（以下「専門家」という。）を委員として加えなければならない。
- 3 専門家は、やむを得ず委員会に出席できないときは、必ず当該資料収集に関する意見書を館長に提出しなければならない。
- 4 役職者以外の委員（専門家を除く。）の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、役職上の委員の任期は、その職にある期間とする。

### （委員会の開催要件）

第4条 委員会は、次に掲げる場合に開催しなければならない。

- (1) 1資料の価格（税込み）が100万円を超える場合
- (2) 当該年度の資料購入予算限度額を超える場合
- (3) その他、館長が諮問する場合

### （委員長）

第5条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、館長がこれに当たる。館長が欠けたとき又は館長に事故あるときは、委員の互選によって、これを定める。

### （招集等）

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者（学外者を含む。）の出席を求め、その意見を聴くことができる。

### （委員会の成立及び議事）

第7条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### （所管部署）

第8条 この内規に関する事務は、総合企画部博物館事務室の所管とする。

### （内規の改廃）

第9条 この内規の改廃は、西南学院大学博物館協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

### 附 則

この内規は、2016（平成28）年4月1日から施行する。

### 附 則

この内規は、2018（平成30）年4月1日から施行する。

## 5. その他

## 寄贈図書一覧

## 寄贈図書一覧

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 vol.52 no.4	小冊子	2017	日本博物館協会
東北大学総合学術博物館	"Bulletin of the Tohoku University Museum" no. 16 2017	紀要	2017	東北大学総合学術博物館
東北大学総合学術博物館	"Omnividens オムニヴィデンス" 第53号	小冊子	2017	東北大学総合学術博物館
佐賀県立九州陶磁器文化館	セラミック九州	小冊子	2017	佐賀県立九州陶磁器文化館
久留米市美術館	九州洋画	図録	2016	久留米市美術館
博多湾岸「金印ロード」資源活用プロジェクト 実行委員会	機械遺産・アロー号からみた近代文化遺産の保存/活用	報告書	2017	福岡市博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館ミュージアム・レター No. 33	小冊子	2017	学習院大学史料館
京都大学大学文書館研究紀要編集委員会	京都大学大学文書館研究紀要 第15号	紀要	2017	京都大学大学文書館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館 News Letter vol. 11	小冊子	2017	中部大学民族資料博物館
福岡アジア美術館	あじびニュース第68号	小冊子	2017	福岡アジア美術館
福岡市美術館	平成27年度福岡市美術館活動の記録	年報	2017	福岡市美術館
福岡市美術館	福岡市美術館研究紀要第5号	紀要	2017	福岡市美術館
福岡市美術館	"エスブラナード" no. 187	小冊子	2017	福岡市美術館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	i10(いと) 76号	広報誌	2017	大分県芸術文化スポーツ振興財団
東京文化財研究所	"TOBUNKEN NEWS" No. 63	小冊子	2017	東京文化財研究所
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館調査報告第14集「木津川・淀川にお ける弥生～古墳時代集落・墳墓の動態に関する研究」	報告書	2017	同志社大学歴史資料館
久留米文化財収蔵館	収蔵館ニュース第13号	小冊子	2017	久留米文化財収蔵館
後小路雅弘ほか	国際シンポジウム2016年 「大学と美術の可能性を求めて」報告書	報告書	2017	九州大学大学院人文学研究院
東京文化財研究所	公開研究予稿集 南蛮漆器の多源性を探る	予稿集	2017	東京文化財研究所
九州国立博物館	季刊情報誌アジアージュ第44号	小冊子	2017	九州国立博物館
長崎近世文書研究会	長崎史料叢書第十二集	紀要	2016	長崎近世文書研究会
熊本市田原坂西南戦争資料館	年刊 田原坂 vol. 1	小冊子	2015	湧々座
熊本市田原坂西南戦争資料館	年刊 田原坂 vol. 2	小冊子	2016	湧々座
熊本市田原坂西南戦争資料館	年刊 田原坂 vol. 3	小冊子	2017	湧々座
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	東亜同文書院記念基金会ニュース 第17号	小冊子	2017	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	同文書院記念報 VOL. 25	紀要	2017	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol. 112	小冊子	2016	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol. 113	小冊子	2016	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュースvol. 114	小冊子	2017	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	ほとけの王国 大分の仏像	図録	2016	大分市歴史資料館
木下貴子ほか	筑後アート往来2016 記録集	記録集	2017	福岡県人づくり・県民生活部 文化振興課
三満田巧ほか	記録集 ちくごアートファーム計画2016～ 筑後の自然と創造力 アートで地球と遊ぶ 木村崇人展	記録集	2017	福岡県人づくり・県民生活部 文化振興課
田中菜穂子	古書の道 沙羅書房 五十年誌	書籍	2017	沙羅書房
ピーター・リー	サロンクバヤ シンガポール 麗しのスタイル	図録	2016	福岡市美術館
正路佐知子	歴史する！ Doing history !	図録	2017	福岡市美術館
福岡市美術館	福岡市美術館 クロージング/リニューアルプロジェクト 2016について語る	記録集	2017	福岡市美術館
大分県立美術館教育普及グループ	びじゅつってすげえ！ 2016-2017	報告書	2017	大分県立美術館
金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所	金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所年報2015	年報	2017	金沢美術工芸大学美術工芸研究所
金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所	1955・産業美術・発信—金沢美術工芸大学のデザイン教育—	図録	2017	金沢美術工芸大学美術工芸研究所
金沢美術工芸大学美術工芸研究所	平成28年度研究所報	報告書	2017	金沢美術工芸大学美術工芸研究所
石橋財団ブリヂストン美術館	館報65 2016	年報	2017	石橋財団ブリヂストン美術館
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館とタイ国立科学博物館の部局間協定にお ける共同活動	報告書	2017	北海道大学総合博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHU」no. 48	小冊子	2017	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館 紀要 第14号	紀要	2017	玉川大学教育博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 News Letter No.39	小冊子	2017	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 News Letter No.40	小冊子	2017	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館 年報 No.15	年報	2017	鹿児島大学総合研究博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
日本博物館協会	博物館研究vol.52	小冊子	2017	日本博物館協会
新潟市歴史博物館	帆橋成林 vol.40	小冊子	2017	新潟市歴史博物館
九州歴史資料館	九歴だより45号	報告書	2017	九州歴史資料館
越谷市教育委員会生涯学習課	越谷御殿跡発掘調査報告書Ⅰ	報告書	2017	越谷市教育委員会生涯学習課
長崎歴史文化博物館	れきぶんニュース no. 41	報告書	2017	長崎歴史文化博物館
福岡市総合図書館	古文書史料目録 22	目録	2017	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館	研究紀要 17	紀要	2017	福岡市総合図書館
駒澤大学禅文化歴史博物館	企画展図録	図録	2017	駒澤大学禅文化歴史博物館
思文閣出版	思文閣古書資料目録	目録	2017	思文閣出版
新宮市教育委員会	国指定史跡 相島積石塚群保存整備事業報告書Ⅱ	報告書	2017	新宮市教育委員会
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第77号	小冊子	2017	東京大学史料編纂所
平戸市生月町博物館島の館	「島の館だより」21号	報告書	2017	平戸市生月町博物館島の館
日本博物館協会	日本の博物館総合調査報告書	報告書	2017	日本博物館協会
熊本県立美術館	震災と復興のメモリー@熊本	図録	2017	熊本県立美術館
関西大学博物館	関西大学博物館集報「阡陵」第74号	小冊子	2017	関西大学博物館
関西大学博物館	関西大学博物館紀要 第23号	紀要	2017	関西大学博物館
福岡市博物館	収蔵品目録32	目録	2017	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館研究紀要 第26号	紀要	2017	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館年報	年報	2016	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata 103	小冊子	2016	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata 104	小冊子	2016	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata 105	小冊子	2016	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata 106	小冊子	2017	福岡市博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	平成27年度年報	年報	2017	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	研究報告第14号	小冊子	2017	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	着物が語る日本の心	図録	2016	北九州市立自然史・歴史博物館
唐津市近代図書館	野口彌太郎展	図録	2016	唐津市近代図書館
日本画山脈展実行委員会	日本画山脈展	図録	2017	唐津市近代図書館
学習院大学史料館	学習院大学史料館紀要 第23号	紀要	2017	学習院大学史料館
花田伸一、柴川敏之	2000年後のピラミッド「柴川敏之展記録集	図録	2017	ちくごアートファーム計画実行委員会
日本博物館協会	博物館研究	小冊子	2017	日本博物館協会
桂川町教育委員会社会教育課文化財振興係	桂川町文化財調査報告書第20集 金比羅山古墳	報告書	2017	桂川町教育委員会社会教育課文化財振興係
久留米大学	NEWSLETTER	小冊子	2017	久留米大学
昭和女子大学光葉博物館	相模人形芝居の世界	図録	2016	昭和女子大学光葉博物館
昭和女子大学光葉博物館	東日本大震災の復興支援活動	図録	2016	昭和女子大学光葉博物館
昭和女子大学光葉博物館	発掘で何がわかる？	図録	2017	昭和女子大学光葉博物館
立正大学博物館	立正大学博物館年報15	年報	2017	立正大学博物館
立正大学博物館	開館15周年記念展図録	図録	2017	立正大学博物館
立正大学博物館	第11回特別展図録	図録	2017	立正大学博物館
立正大学博物館	万吉だより23号	小冊子	2017	立正大学博物館
立正大学博物館	万吉だより24号	小冊子	2017	立正大学博物館
大分県立美術館	研究紀要 1号	紀要	2017	大分県立美術館
大分県立美術館	年報	年報	2017	大分県立美術館
関西学院大学博物館	日中のかけはしー愛新覚羅溥儀家の軌跡	図録	2017	関西学院大学博物館
徳川記念財団	会報 vol.29	小冊子	2017	徳川記念財団
日本博物館協会	博物館登録制度の在り方に関する調査研究	報告書	2017	日本博物館協会
日本博物館協会	博物館研究 vol. 52	小冊子	2017	日本博物館協会
公益財団法人鍋島報効会	藩祖鍋島直茂公と日峯社	報告書	2017	公益財団法人鍋島報効会
出光美術館	館報179号	報告書	2017	後藤新治館長
北海道大学総合博物館	ニュース35号	報告書	2017	北海道大学総合博物館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	i10(いと)77号	報告書	2017	大分県芸術文化スポーツ振興財団
神戸大学海事博物館	海事博物館研究年報 No. 44	年報	2017	神戸大学海事博物館
全日本博物館学会	博物館学雑誌42巻	学会誌	2017	全日本博物館学会
北九州市漫画ミュージアム	作品集	報告書	2017	北九州市漫画ミュージアム
久留米市美術館	川端康成 美と文学の森	図録	2017	久留米市立美術館
日本博物館協会	博物館研究 vol. 52	報告書	2017	日本博物館協会
長崎歴史文化博物館	れきぶんニュース no. 42	報告書	2017	長崎歴史文化博物館
能古博物館	のこ博物館だより no. 81	報告書	2017	能古博物館
福岡市文化芸術振興財団	福岡のアート情報誌 Wa	小冊子	2017	福岡市文化芸術振興財団

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
九州国立博物館	世界遺産 ラスコー展	図録	2017	九州国立博物館
九州国立博物館	タイ～仏の国の輝き～	図録	2017	九州国立博物館
九州国立博物館	水の中からよみがえる歴史ー水中考古学最前線ー	図録	2017	九州国立博物館
九州国立博物館	紀要 東風西声	紀要	2017	九州国立博物館
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS	冊子	2017	東京文化財研究所
東京文化財研究所	概要 2017	年報	2017	東京文化財研究所
能古博物館	のこ博物館だより第81号	小冊子	2017	能古博物館
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第309集	報告書	2017	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第310集	報告書	2017	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第311集	報告書	2017	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第312集	報告書	2017	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市文化財調査報告書 第313集	報告書	2017	小郡市教育委員会
小郡市教育委員会	小郡市内文化遺産再発見報告書	報告書	2017	小郡市教育委員会
日本博物館協会	博物館研究 vol. 52	小冊子	2017	日本博物館協会
新潟市歴史博物館	博物館ニュース	小冊子	2017	新潟市歴史博物館
古代出雲歴史博物館	石見銀山展	図録	2017	古代出雲歴史博物館
帝国データバンク史料館	帝国データバンク史料館だより[Muse]Vol.30	小冊子	2017	帝国データバンク史料館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	i10(いと) 78号	小冊子	2017	大分県芸術文化スポーツ振興財団
柳川古文書館	柳川古文書館三十周年記念誌	報告書	2017	柳川古文書館
九州歴史博物館	九歴だより No. 49	報告書	2017	九州歴史博物館
帝京大学博物館	展覧会図録	図録	2017	帝京大学博物館
公益財団法人有馬記念館保存会	有馬記念館年報第3号	年報	2017	有馬記念館
長崎歴史文化博物館	れきぶんNEWS	小冊子	2017	長崎歴史文化博物館
九州国立博物館	新・桃山展ー大航海時代の日本美術ー	図録	2017	九州国立博物館
九州国立博物館	大分県 国東宇佐 六郷満山展 ～神と仏と鬼の郷～	図録	2017	九州国立博物館
九州国立博物館	対馬 遺宝にみる交流の足跡	図録	2017	九州国立博物館
國學院大學文学部考古学研究室	青森県東北町赤平(1)遺跡2013年度発掘調査報告書	報告書	2016	國學院大學文学部考古学研究室
國學院大學文学部考古学研究室	長野県安曇野市穂高古墳群2014年度発掘調査報告書	報告書	2016	國學院大學文学部考古学研究室
國學院大學文学部考古学研究室	群馬県吾妻郡長野原町居家以岩陰遺跡 2014年度発掘調査報告書	報告書	2017	國學院大學文学部考古学研究室
日本博物館協会	博物館研究 vol. 52	報告書	2017	日本博物館協会
九州大学総合研究博物館	博物館ニュースno. 28	報告書	2017	九州大学総合研究博物館
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信第79号	報告書	2017	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター
山中耕作ほか	平家の里 椎葉村の昔語りー上巻昔ばなしの部	本	2017	山中耕作先生
日本工業大学工業技術博物館	日本工業大学工業技術博物館ニュースno. 98	報告書	2017	日本工業大学工業技術博物館
学習院大学学芸員課程事務局	学芸員ーBulletin for Curator's Course No. 21	報告書	2017	学習院大学学芸員課程事務局
九州保健福祉大学	博物館学年報6	年報	2017	九州保健福祉大学
福岡大学博物館フォーラム	第一回福岡大学博物館フォーラム開催報告書	報告書	2017	福岡大学博物館フォーラム
日本博物館協会	博物館研究 vol. 52	報告書	2017	日本博物館協会
関西学院大学博物館	装いの上海モダンー近代中国女性の服飾ー	図録	2017	関西学院大学博物館
佐賀大学美術館	佐賀の染色文化	図録	2017	佐賀大学美術館
佐賀大学美術館	平成28年度年報+紀要	年報	2017	佐賀大学美術館
下関市立歴史博物館	龍馬がみた下関	図録	2017	下関市立歴史博物館
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第36号	紀要	2017	南山大学人類学博物館
アイヌ文化振興・研究推進機構	現れよ。森羅の生命ー木彫家 藤戸竹喜の世界	図録	2017	アイヌ文化振興・研究推進機構
大分県立先哲史料館	ふるさとの歴史を紡ぐものー地域の文化遺産と未来への継承ー	図録	2017	大分県立先哲史料館
大分県立先哲史料館	研究紀要第22号	紀要	2017	大分県立先哲史料館
京都大学文書館	大学文書館だより 第33号	小冊子	2017	京都大学文書館
適塾記念センター	適塾 第50号	会誌	2017	適塾記念センター
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報	年報	2017	大分県立歴史博物館
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館研究紀要	紀要	2017	大分県立歴史博物館
福岡アジア美術館	あじびニュース71	小冊子	2018	福岡アジア美術館
大分県芸術文化スポーツ振興財団	i10(いと) 79号	小冊子	2017	大分県芸術文化スポーツ振興財団
徴古館	徴古館報第35号	会誌	2018	徴古館
徴古館	佐賀藩初代藩主の子供たち	図録	2017	徴古館
長崎歴史文化博物館	れきぶん no. 44	紀要	2018	長崎歴史文化博物館
私立大学情報教育協会	大学教育と情報 no. 3	紀要	2017	私立大学情報教育協会
熊本大学工学部工業研究会	熊本大学工学部研究資料図録	図録	2017	熊本大学工学部
東京農業大学「食と農」の博物館	年報2014.2015.2016	年報	2017	東京農業大学「食と農」の博物館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信 第80号	小冊子	2018	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュース No. 99	小冊子	2018	日本工業大学工業技術博物館
日本工業大学工業技術博物館	ハンドブック 工作機械とは?	小冊子	2017	日本工業大学工業技術博物館
九州国立博物館	王羲之と日本の書	図録	2018	九州国立博物館
九州国立博物館	白隠さんと仙厓さん	図録	2018	九州国立博物館
帝国データバンク史料館	Muse	小冊子	2018	帝国データバンク史料館
日本博物館協会	博物館研究 vol. 53	小冊子	2018	日本博物館協会
國學院大學博物館	報告書	小冊子	2018	國學院大學博物館
関西大学博物館	報告書	小冊子	2017	関西大学博物館
鹿児島国際大学博物館実習施設	調査研究報告書	報告書	2018	鹿児島国際大学博物館実習施設
かんざい・大学ミュージアム連携実行委員会	事業報告書	報告書	2018	かんざい・大学ミュージアム連携実行委員会
九州大学総合研究博物館	NEWS 29	小冊子	2018	九州大学総合研究博物館
福岡県立美術館	没後50年 中村研一展	図録	2018	福岡県立美術館
熊本大学	五高記念館館報第3号	年報	2018	熊本大学
九州産業大学美術館	平成28・29年度九州産業大学美術館粘土報告書	年報	2018	九州産業大学美術館
下関市立歴史博物館	朝鮮通信使 日韓の平和と構築と文化交流の歴史	図録	2018	下関市立歴史博物館
ふくおか博物館人材育成事業実行委員会	平成29年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」実施報告書	報告書	2018	九州産業大学美術館
筑紫野市歴史博物館	年報18(平成28年度)	年報	2018	筑紫野市歴史博物館
茨木市立文化財史料館	茨木のキリシタン遺物―信仰を捧げた人々―	図録	2018	茨木市立文化財史料館
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書第9集 日野江城跡	報告書	2018	南島原市教育委員会
南島原市教育委員会	史跡日野江城跡環境整備事業報告書	報告書	2018	南島原市教育委員会
大分県杵築市教育委員会	特別展 木付城・藩主御殿、そして城下町「杵築」のはじまり	図録	2017	大分県杵築市教育委員会
大分県杵築市教育委員会	国指定史跡 小熊山古墳・御塔山古墳記念企画展 水の願い神への祈り	図録	2017	大分県杵築市教育委員会
及川信	神父になったサムライ―日本正教会の歴史 論考―	論考	2018	京都ハリストス正教会
東洋英和女学院大学	カナダ・メソジスト婦人宣教師の研究 川上よしさん資料	報告書	2018	東洋英和女学院大学
東洋英和女学院大学	カナダ・メソジスト婦人宣教師の研究 資料集	報告書	2017	東洋英和女学院大学
東洋英和女学院大学	カナダ・メソジスト婦人宣教師による日本における幼児教育事業に関する資料収集・調査研究	報告書	2005	東洋英和女学院大学
東洋英和女学院大学	カナダ・メソジスト婦人宣教師の研究	報告書	2018	東洋英和女学院大学
長崎市長崎学研究所	長崎学第2号	紀要	2018	長崎歴史文化博物館
熊本県立装飾古墳館	研究紀要13集	紀要	2017	熊本県立装飾古墳館
熊本県立装飾古墳館	熊本県北の装飾古墳―円文と三角文がウミダシタモノ―	図録	2016	熊本県立装飾古墳館
ノースアジア大学 雪国民俗館	雪国民俗 第41号	小冊子	2017	ノースアジア大学 雪国民俗館
ふくおか博物館人材育成事業実行委員会	平成28年度文化庁「地域の核となる美術館・博物館支援事業」ふくおか博物館人材育成事業実行委員会報告書	報告書	2017	九州産業大学美術館
広島大学総合博物館	広島大学総合博物館研究報告 8	報告書	2016	広島大学総合博物館
長崎市	鳴滝紀要 第27号	紀要	2017	長崎学研究所
長崎市	長崎学 創刊号	紀要	2017	長崎学研究所
海の道むなかた館	海の道むなかた館年報Ⅳ	年報	2016	海の道むなかた館

## 西南学院大学博物館組織

### 大学博物館

館長 後藤 新治（兼任、本学国際文化学部教授）  
専門：西洋美術史  
ジョルジュ・ルオーと20世紀のキリスト教美術、イタリア未来派と20世紀の前衛主義、アジアの近代美術とジェンダー、植民地博覧会とパリ都市計画

学芸員 下園 知弥（専任）  
専門：西洋思想史・西洋美術史  
キリスト教の思想・美術を中心に研究

### 博物館事務室

職員 塚田 恵美子（専任）

### 臨時職員

学芸研究員 野藤 妙（担当：日本近世史）  
山尾 彩香（担当：西洋美術史・教育普及）  
学芸調査員 宮川 由衣（本学国際文化研究科研究生）  
中禮 尚史（本学国際文化学部学部生）  
西山 萌（本学国際文化学部学部生）  
鬼束 芽依（本学国際文化学部学部生）

### 博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

委員長 後藤 新治（博物館長）  
委員 伊藤 慎二（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）  
金丸 英子（神学部長 本学神学部教授）  
大杉 晋介（大学事務長）  
下園 知弥（博物館教員・学芸員）  
塚田 恵美子（博物館事務室責任者・主幹）

### 博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

会長 島谷 弘幸（九州国立博物館館長）  
副会長 有馬 学（福岡市博物館館長）  
委員 松原 知生（学芸員資格をもつ大学教員 本学国際文化学部教授）  
伊藤 慎二（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）  
大杉 晋介（本学大学事務長）  
齊藤 真人（学校法人立花学園立花高等学校校長）

（2018年10月現在）



西南学院大学博物館年報 第 10 号  
2017

発行日 2019年1月31日

編集発行 西南学院大学博物館  
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1  
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡  
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1  
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003